

9 . 住民満足度の分析

9 - 1 . 生活環境および市政全般に対する住民の満足度と重要度

先述した「 2 - 1 . 生活環境評価 」では、市民の生活環境および市政全般 40 項目に関する評価について、満足度、重要度ともにその回答比率に基づいて分析した。ここでは、さらに詳細な分析を行うために、生活環境評価項目それぞれについて、以下に示す基準のもとに得点化し、「無回答」を除いた他の項目の平均点を算出している。この得点が高いほど、満足度または重要度が高いことを意味する。

< 満足度および重要度の得点基準 >

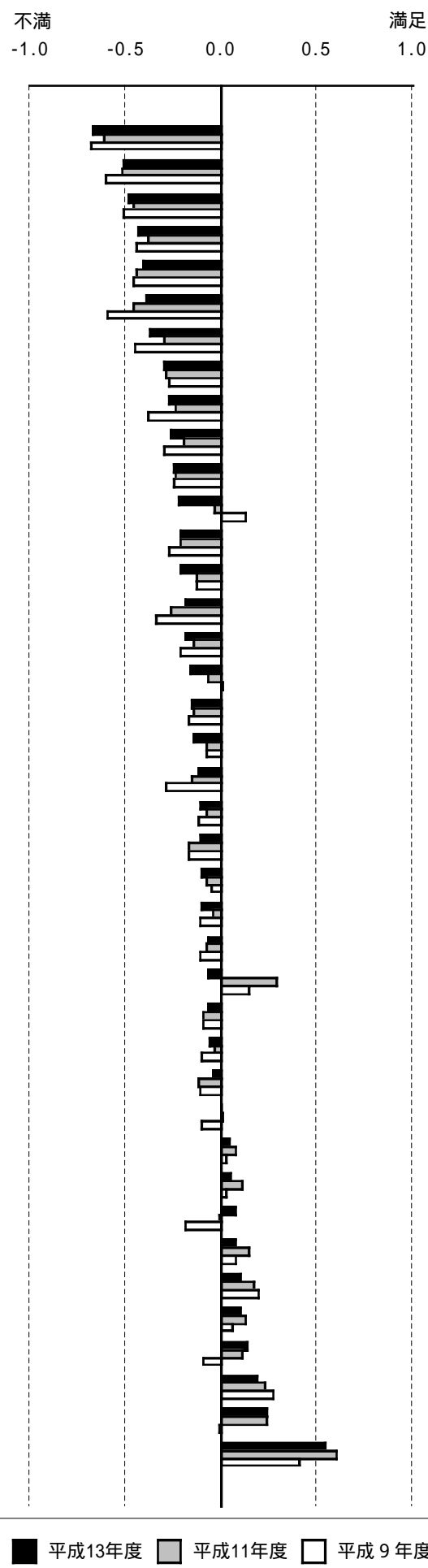
満 足 度	重 要 度	得 点
「満足」	「特に重要である」	2 点
「やや満足」	「重要度が高い」	1 点
「どちらともいえない」	「普通である」	0 点
「やや不満」	「重要度が低い」	- 1 点
「不満」	「全く重要でない」	- 2 点

図表 9 - 1 - 1 は、市全体の満足度得点平均について平成 9 年度および平成 11 年度の調査結果と比較したものである。平成 11 年度に比べて満足度の高くなった項目は、「高校、大学などの整備」「男女共同参画社会の取り組み」「地震、火災、水害などの災害対策」「道路網や橋の整備」「医療機関や診療体制」「健康増進（ウェルネス）のための施策」「河川等の水質や大気汚染対策」「下水道の整備」「水道水の安定供給と水質」「音楽会、美術展等の開催」「自宅周辺での子どもの遊び場の確保」の 11 項目で、特に「高校、大学などの整備」の項目では、不満傾向（得点がマイナスの値）から満足傾向（得点がプラスの値）に移行している。しかし、25 項目については満足度が低下しており、特に「鉄道の利便性」の項目では、満足傾向から不満傾向へ移行している（40 項目中 2 項目は、平成 11 年度と値が変化していない）。

次に、重要度の得点平均についてみると、平成 11 年度より重要度が高まったのは、「高校、大学などの整備」「情報化社会への対応」「バスの利便性」「保育所などの児童福祉施策」「幼稚園、小・中学校の施設や教育内容」「史跡、伝統文化等の保護」「青少年の健全育成」の 7 項目のみで、残りの 28 項目については重要度の高まりが小さくなっている（40 項目中 5 項目は、平成 11 年度と値が変化していない）。（図表 9 - 1 - 2）

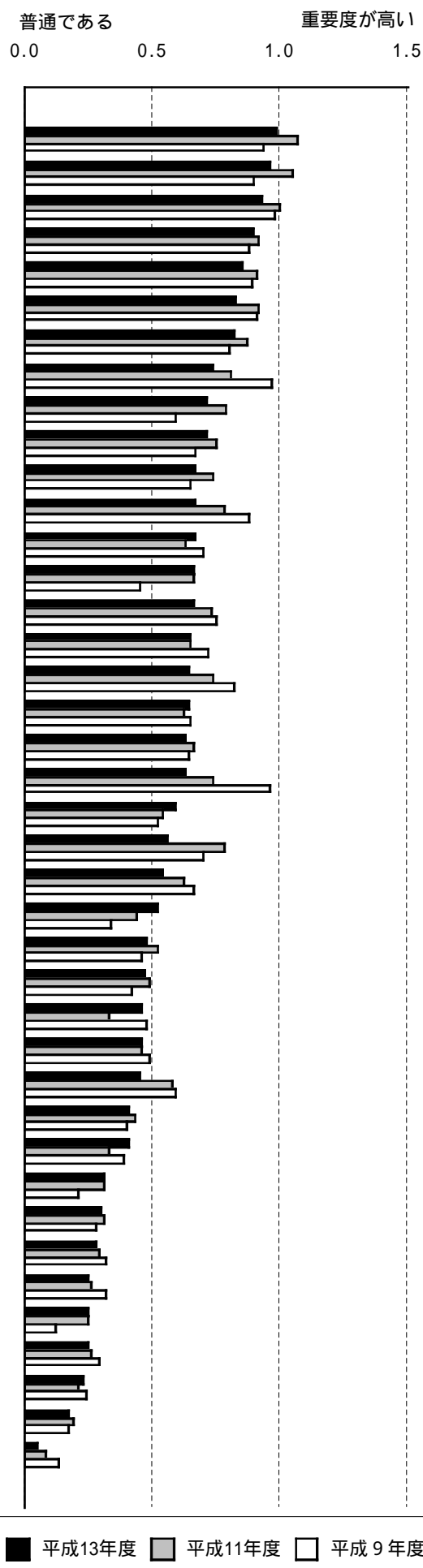
【図表9 - 1 - 1 満足度得点平均】

項目	得点		
	H13	H11	H9
バスの利便性	-0.67	-0.61	-0.68
自宅周辺での子どもの遊び場の確保	-0.51	-0.52	-0.60
自宅周辺の道路の広さや舗装	-0.48	-0.46	-0.51
騒音、振動、悪臭等の対策	-0.43	-0.38	-0.44
河川等の水質や大気汚染対策	-0.41	-0.44	-0.46
道路網や橋の整備	-0.39	-0.46	-0.59
ゆとりと潤いのあるまちなみ	-0.37	-0.30	-0.45
信号機、ガードレールなどの交通安全施設	-0.30	-0.29	-0.27
介護保険の取り組み（在宅介護への支援）	-0.27	-0.24	-0.38
青少年の健全育成	-0.26	-0.19	-0.30
公園や緑地の整備	-0.25	-0.24	-0.25
商業の振興	-0.22	-0.03	0.13
高齢者への福祉施策	-0.21	-0.21	-0.27
保育所などの児童福祉施策	-0.21	-0.13	-0.13
地震、火災、水害などの災害対策	-0.18	-0.26	-0.34
心身障害者（児）への福祉施策	-0.18	-0.14	-0.21
工業の振興	-0.16	-0.07	0.01
国際化への対応	-0.15	-0.14	-0.17
農林水産業の振興	-0.14	-0.08	-0.08
下水道の整備	-0.12	-0.15	-0.29
母（父）子家庭への福祉施策	-0.11	-0.08	-0.12
医療機関や診療体制	-0.11	-0.17	-0.17
情報化社会への対応	-0.10	-0.08	-0.05
幼稚園、小・中学校の施設や教育内容	-0.10	-0.04	-0.11
音楽会、美術展等の開催	-0.07	-0.08	-0.11
鉄道の利便性	-0.07	0.29	0.15
水道水の安定供給と水質	-0.07	-0.09	-0.09
緑化、自然保護の推進	-0.06	-0.03	-0.10
男女共同参画社会の取り組み	-0.04	-0.12	-0.11
まちづくりへの市民参加	0.00	0.01	-0.10
生涯学習、文化サークル活動	0.04	0.08	0.03
体力づくり、スポーツ活動の振興	0.05	0.11	0.03
高校、大学などの整備	0.08	-0.01	-0.18
ごみの収集、処理対策	0.08	0.15	0.08
住民健診や生活習慣病予防活動	0.10	0.17	0.20
史跡、伝統文化等の保護	0.10	0.13	0.06
健康増進（ウエルネス）のための施策	0.14	0.11	-0.09
隣近所とのつきあい、交流	0.19	0.23	0.27
市役所、市民センターの利用のしやすさ	0.24	0.24	-0.01
日常の買い物の利便性	0.54	0.61	0.41



【図表9 - 1 - 2 重要度得点平均】

項目	得点		
	H13	H11	H9
河川等の水質や大気汚染対策	0.99	1.07	0.94
ごみの収集、処理対策	0.96	1.05	0.90
水道水の安定供給と水質	0.93	1.00	0.98
地震、火災、水害などの災害対策	0.90	0.92	0.88
医療機関や診療体制	0.85	0.91	0.89
高齢者への福祉施策	0.83	0.92	0.91
騒音、振動、悪臭等の対策	0.82	0.87	0.80
下水道の整備	0.74	0.81	0.97
日常の買い物の利便性	0.71	0.79	0.59
緑化、自然保護の推進	0.71	0.75	0.67
心身障害者（児）への福祉施策	0.67	0.74	0.65
介護保険の取り組み（在宅介護への支援）	0.67	0.78	0.88
幼稚園、小・中学校の施設や教育内容	0.67	0.63	0.70
市役所、市民センターの利用のしやすさ	0.66	0.66	0.45
信号機、ガードレールなどの交通安全施設	0.66	0.73	0.75
自宅周辺での子どもの遊び場の確保	0.65	0.65	0.72
自宅周辺の道路の広さや舗装	0.64	0.74	0.82
青少年の健全育成	0.64	0.62	0.65
住民健診や生活習慣病予防活動	0.63	0.66	0.64
道路網や橋の整備	0.63	0.74	0.96
保育所などの児童福祉施策	0.59	0.54	0.52
鉄道の利便性	0.56	0.78	0.70
公園や緑地の整備	0.54	0.62	0.66
情報化社会への対応	0.52	0.44	0.34
母（父）子家庭への福祉施策	0.48	0.52	0.46
商業の振興	0.47	0.49	0.42
高校、大学などの整備	0.46	0.33	0.48
隣近所とのつきあい、交流	0.46	0.46	0.49
ゆとりと潤いのあるまちなみ	0.45	0.58	0.59
健康増進（ウエルネス）のための施策	0.41	0.43	0.40
バスの利便性	0.41	0.33	0.39
工業の振興	0.31	0.31	0.21
まちづくりへの市民参加	0.30	0.31	0.28
生涯学習、文化サークル活動	0.28	0.29	0.32
男女共同参画社会の取り組み	0.25	0.26	0.32
農林水産業の振興	0.25	0.25	0.12
体力づくり、スポーツ活動の振興	0.25	0.26	0.29
史跡、伝統文化等の保護	0.23	0.21	0.24
国際化への対応	0.17	0.19	0.17
音楽会、美術展等の開催	0.05	0.08	0.13



9 - 2 . 住民のニーズ

住民のニーズの高さを見るため、経済企画庁国民生活局の「国民生活選好度調査」を参考として、生活環境 40 項目の満足度および重要度の得点（各 5 段階評価）により、ニーズ得点（下記参考）を各項目ごとに設定し、その得点の平均値を算出した。

参考 ニーズ得点の求め方

$$(\text{ニーズ得点}) = (\text{重要度}) \times (6 - \text{満足度})$$

注) 満足度および重要度の 5 段階評価に下表のような得点を設定する。

満足度	重要度	得点
「満足」	「特に重要である」	5 点
「やや満足」	「重要度が高い」	4 点
「どちらともいえない」	「普通である」	3 点
「やや不満」	「重要度が低い」	2 点
「不満」	「全く重要でない」	1 点

なお、ここで、(6 - 満足度) は不満度を意味する。ニーズ得点の範囲は 1 ~ 25 点となり、得点が高いほどニーズが高いことを意味する。

ニーズ得点は、重要度および満足度によって変化し、重要度が高くなるほど、また満足度が低くなるほどその得点傾向は高くなる。したがって、重要度の高さが満足度の高さにより相殺され、ニーズ得点が高くない場合もある。

【ニーズ得点順位表】

順番	満足度	得点	重要度	得点	ニーズ得点
1	不満	1	特に重要	5	25
2	やや不満	2	特に重要	5	20
	不満	1	重要度が高い	4	20
3	やや不満	2	重要度が高い	4	16
4	不満	1	普通	3	15
	どちらでもない	3	特に重要	5	15
5	やや不満	2	普通	3	12
	どちらでもない	3	重要度が高い	4	12
6	やや満足	4	特に重要	5	10
	不満	1	重要度が低い	2	10
7	どちらでもない	3	普通	3	9
8	やや不満	2	重要度が低い	2	8
	やや満足	4	重要度が高い	4	8
9	やや満足	4	普通	3	6
	どちらでもない	3	重要度が低い	2	6
10	不満	1	全く重要でない	1	5
	満足	5	特に重要	5	5
11	やや不満	2	全く重要でない	1	4
	やや満足	4	重要度が低い	2	4
	満足	5	重要度が高い	4	4
12	どちらでもない	3	全く重要でない	1	3
	満足	5	普通	3	3
13	やや満足	4	全く重要でない	1	2
	満足	5	重要度が低い	2	2
14	満足	5	全く重要でない	1	1

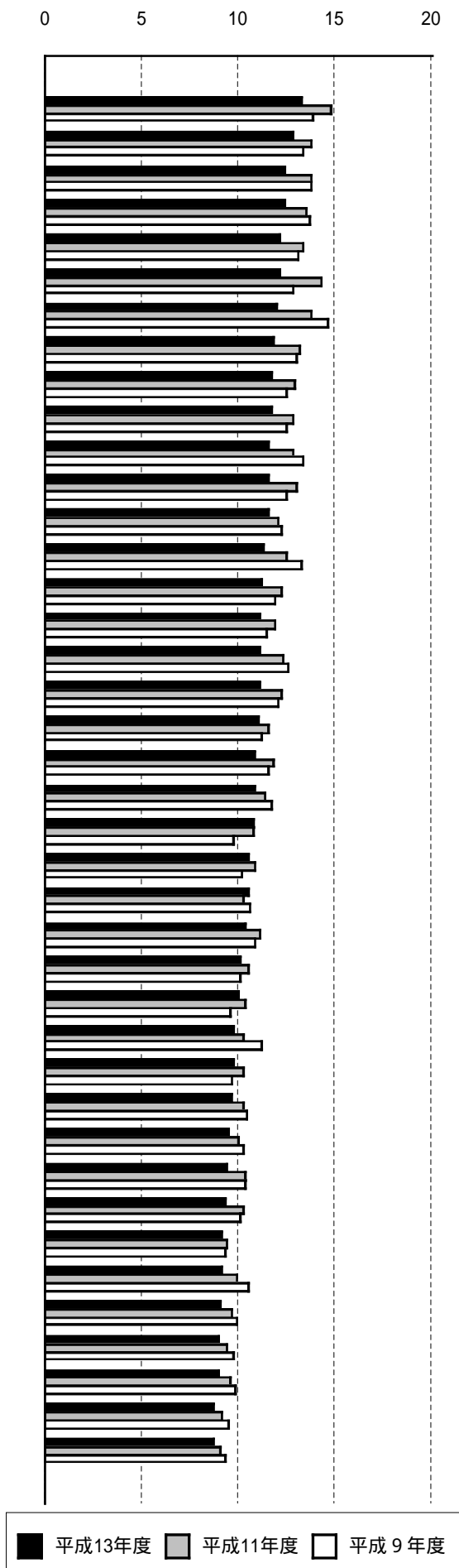
図表9 - 2は、市全体のニーズ得点平均について平成9年度および平成11年度の調査結果と比較したものである。平成11年度に比べて得点平均が高くなっているのは、40項目中1項目で「鉄道の利便性」となっているが、ほとんど差はみられない。これ以外の39項目については、平成11年度より得点平均が低く、なかでも差が大きかったのは「バスの利便性」「道路網や橋の整備」で約2点低くなっている。以下「河川等の水質や大気汚染対策」「医療機関や診療体制」「自宅周辺の道路の広さや舗装」「高齢者への福祉対策」「介護保険の取り組み（在宅介護への支援）」「下水道の整備」「地震、火災、水害などの災害対策」「水道水の安定供給と水質」「ゆとりと潤いのあるまちなみ」「自宅周辺での子どもの遊び場の確保」「信号機、ガードレールなどの交通安全施設」「公園や緑地の整備」「心身障害者（児）への福祉対策」「男女共同参画社会の取り組み」の14項目が1点以上低くなっている。

表9 - 2 - 1は、居住地区別にニーズ得点平均の上位5項目についてまとめ、かつ平成9年度および平成11年度の調査結果と比較したものである。市全体では、平成11年度と同様に「河川等の水質や大気汚染対策」の得点が最も高くなっている。各地区ごとにみると、野口地区では「自宅周辺の道路の広さや舗装」、平岡、浜の宮地区では「河川等の水質や大気汚染対策」、両荘、加古川西、志方地区では「下水道の整備」が最も高く、平成11年度から変化がみられない。

一方、加古川地区では「騒音、振動、悪臭等の対策」、加古川北地区では「鉄道の利便性」が最も高く、いずれも平成11年度では上位5項目以内に入っていない項目が上がっており、ニーズに変化がみられる。

【図表9 - 2 ニーズ得点平均】

項目	得点		
	H13	H11	H9
河川等の水質や大気汚染対策	13.27	14.81	13.89
騒音、振動、悪臭等の対策	12.82	13.78	13.34
自宅周辺の道路の広さや舗装	12.44	13.77	13.76
自宅周辺での子どもの遊び場の確保	12.39	13.57	13.68
地震、火災、水害などの災害対策	12.14	13.34	13.10
バスの利便性	12.14	14.26	12.83
道路網や橋の整備	11.99	13.81	14.65
高齢者への福祉施策	11.84	13.16	12.99
信号機、ガードレールなどの交通安全施設	11.76	12.90	12.47
水道水の安定供給と水質	11.68	12.86	12.45
介護保険の取り組み（在宅介護への支援）	11.59	12.83	13.34
医療機関や診療体制	11.58	12.97	12.46
青少年の健全育成	11.53	12.06	12.28
下水道の整備	11.31	12.53	13.29
心身障害者（児）への福祉施策	11.19	12.26	11.91
ごみの収集、処理対策	11.14	11.92	11.49
ゆとりと潤いのあるまちなみ	11.14	12.32	12.60
公園や緑地の整備	11.11	12.24	12.12
保育所などの児童福祉施策	11.08	11.54	11.22
緑化、自然保護の推進	10.91	11.78	11.54
幼稚園、小・中学校の施設や教育内容	10.83	11.40	11.72
商業の振興	10.79	10.81	9.78
情報化社会への対応	10.54	10.89	10.21
鉄道の利便性	10.52	10.27	10.60
母（父）子家庭への福祉施策	10.34	11.18	10.89
住民健診や生活習慣病予防活動	10.05	10.50	10.14
工業の振興	10.00	10.38	9.61
高校、大学などの整備	9.78	10.27	11.23
農林水産業の振興	9.75	10.23	9.68
市役所、市民センターの利用のしやすさ	9.68	10.23	10.45
まちづくりへの市民参加	9.52	10.00	10.24
男女共同参画社会の取り組み	9.37	10.40	10.38
国際化への対応	9.31	10.24	10.09
隣近所とのつきあい、交流	9.17	9.46	9.35
健康増進（ウェルネス）のための施策	9.15	9.92	10.55
生涯学習、文化サークル活動	9.10	9.68	9.89
体力づくり、スポーツ活動の振興	8.99	9.44	9.78
音楽会、美術展等の開催	8.96	9.61	9.80
史跡、伝統文化等の保護	8.75	9.19	9.53
日常の買い物の利便性	8.70	9.04	9.35



【表9-2-1 居住地区別 ニーズ得点平均(上位5項目)】

		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
市 全 体	平成13年度 (N=1,819)	河川等の水質や大気の 汚染対策 13.27	騒音、振動、悪臭等の 対策 12.82	自宅周辺の道路の広さ や舗装 12.44	自宅周辺での子どもの 遊び場の確保 12.39	地震、火災、水害などの 災害対策 12.14
	平成11年度 (N=2,092)	河川等の水質や大気の 汚染対策 14.81	バスの利便性 14.26	道路網や橋の整備 13.81	騒音、振動、悪臭等の 対策 13.78	自宅周辺の道路の広さや 舗装 13.77
	平成9年度 (N=4,192)	道路網や橋の整備 14.65	河川等の水質や大気の 汚染対策 13.89	自宅周辺の道路の広さ や舗装 13.76	自宅周辺での子どもの 遊び場の確保 13.68	在宅介護への支援 13.34
加 古 川	平成13年度 (N=369)	騒音、振動、悪臭等の 対策 13.19	河川等の水質や大気の 汚染対策 12.82	自宅周辺での子どもの 遊び場の確保 12.71	道路網や橋の整備 12.36	自宅周辺の道路の広さや 舗装 12.33
	平成11年度 (N=423)	自宅周辺での子どもの 遊び場の確保 14.44	河川等の水質や大気の 汚染対策 14.29	道路網や橋の整備 13.97	バスの利便性 13.86	自宅周辺の道路の広さや 舗装 13.49
	平成9年度 (N=795)	道路網や橋の整備 14.43	自宅周辺での子どもの 遊び場の確保 14.07	河川等の水質や大気の 汚染対策 13.66	自宅周辺の道路の広さ や舗装 13.40	騒音、振動、悪臭等の対 策 13.17
加 古 川 北	平成13年度 (N=169)	鉄道の利便性 13.07	バスの利便性 12.81	河川等の水質や大気の 汚染対策 12.82	道路網や橋の整備 12.42	下水道の整備 12.40
	平成11年度 (N=207)	バスの利便性 14.56	河川等の水質や大気の 汚染対策 14.22	道路網や橋の整備 13.51	地震、火災、水害など の災害対策 13.13	医療機関や診療体制 12.84
	平成9年度 (N=429)	道路網や橋の整備 14.74	バスの利便性 13.34	在宅介護への支援 13.07	下水道の整備 13.04	河川等の水質や大気の汚 染対策 13.03
野 口	平成13年度 (N=228)	自宅周辺の道路の広さ や舗装 13.91	河川等の水質や大気の 汚染対策 13.35	騒音、振動、悪臭等の 対策 12.99	道路網や橋の整備 12.89	信号機、ガードレールな どの交通安全施設 12.73
	平成11年度 (N=270)	自宅周辺の道路の広さ や舗装 15.32	河川等の水質や大気の 汚染対策 14.16	道路網や橋の整備 14.32	バスの利便性 14.30	地震、火災、水害などの 災害対策 14.09
	平成9年度 (N=519)	道路網や橋の整備 15.45	自宅周辺の道路の広さ や舗装 15.00	自宅周辺での子どもの 遊び場の確保 14.49	河川等の水質や大気の 汚染対策 13.83	下水道の整備 13.56
平 岡	平成13年度 (N=351)	河川等の水質や大気の 汚染対策 13.56	騒音、振動、悪臭等の 対策 13.05	自宅周辺の道路の広さ や舗装 13.02	自宅周辺での子どもの 遊び場の確保 13.02	地震、火災、水害などの 災害対策 12.25
	平成11年度 (N=393)	河川等の水質や大気の 汚染対策 15.17	バスの利便性 14.68	道路網や橋の整備 14.51	騒音、振動、悪臭等の 対策 14.39	自宅周辺の道路の広さや 舗装 14.28
	平成9年度 (N=793)	道路網や橋の整備 15.24	自宅周辺の道路の広さ や舗装 14.50	河川等の水質や大気の 汚染対策 14.16	自宅周辺での子どもの 遊び場の確保 13.96	騒音、振動、悪臭等の対 策 13.79
浜 の 宮	平成13年度 (N=284)	河川等の水質や大気の 汚染対策 14.53	騒音、振動、悪臭等の 対策 13.73	バスの利便性 13.07	自宅周辺での子どもの 遊び場の確保 12.63	高齢者への福祉施策 12.44
	平成11年度 (N=344)	河川等の水質や大気の 汚染対策 15.88	騒音、振動、悪臭等の 対策 15.11	バスの利便性 14.50	高齢者への福祉 13.50	地震、火災、水害などの 災害対策 13.35
	平成9年度 (N=652)	河川等の水質や大気の 汚染対策 14.73	騒音、振動、悪臭等の 対策 14.57	自宅周辺での子どもの 遊び場の確保 14.06	バスの利便性 13.60	在宅介護への支援 13.42
両 荘	平成13年度 (N=74)	下水道の整備 14.58	河川等の水質や大気の 汚染対策 12.50	日常の買い物の利便性 12.35	商業の振興 12.28	バスの利便性 11.99
	平成11年度 (N=100)	下水道の整備 16.16	バスの利便性 15.65	道路網や橋の整備 15.15	河川等の水質や大気の 汚染対策 15.09	日常の買物の利便性 13.45
	平成9年度 (N=191)	道路網や橋の整備 15.97	下水道の整備 15.95	河川等の水質や大気の 汚染対策 14.36	バスの利便性 14.14	鉄道の利便性 13.92
加 古 川 西	平成13年度 (N=248)	下水道の整備 14.29	河川等の水質や大気の 汚染対策 12.85	騒音、振動、悪臭等の 対策 12.32	地震、火災、水害など の災害対策 12.31	自宅周辺での子どもの遊 び場の確保 12.19
	平成11年度 (N=250)	下水道の整備 16.56	河川等の水質や大気の 汚染対策 14.08	自宅周辺の道路の広さ や舗装 14.03	自宅周辺での子どもの 遊び場の確保 13.93	水道水の安定供給と水質 13.54
	平成9年度 (N=565)	下水道の整備 17.06	道路網や橋の整備 14.81	自宅周辺の道路の広さ や舗装 14.10	地震、火災、水害など の災害対策 13.63	河川等の水質や大気の汚 染対策 13.61
志 方	平成13年度 (N=89)	下水道の整備 14.84	河川等の水質や大気の 汚染対策 12.67	自宅周辺の道路の広さ や舗装 12.58	騒音、振動、悪臭等の 対策 12.17	バスの利便性 12.04
	平成11年度 (N=96)	下水道の整備 16.42	バスの利便性 14.26	河川等の水質や大気の 汚染対策 14.08	在宅介護への支援 13.46	道路網や橋の整備 13.30
	平成9年度 (N=226)	下水道の整備 17.20	自宅周辺の道路の広さ や舗装 13.92	道路網や橋の整備 13.70	バスの利便性 13.38	在宅介護への支援 13.34

9 - 3 . 住民のニーズと住みやすさとの関係

生活環境評価 40 項目における住民のニーズと、市の住みやすさ評価との関係の強さを明らかにするために、相関係数（下記参考）を算出した。

参考 相関係数について

相関係数とは、一方の変数が増加すれば他方の変数も増加するか（正の相関）あるいは減少するか（負の相関）の傾向を示す、関係の強さを計る尺度のことである。

正の相関のときは、相関係数はプラスの値をとり、反対に負の相関のときはマイナスの値をとる。相関が最大のときは「プラス1」または「マイナス1」となり、相関がみられないときは0となる。

例えば、「住みにくい」という回答者の《ゆとり潤いのまちなみ》のニーズ得点は高いが、「住みやすい」という回答者の《ゆとり潤いのまちなみ》のニーズ得点は低い場合、負の相関係数が強くなる。一方、「住みにくい」という回答者の《ゆとり潤いのまちなみ》のニーズ得点が高く、かつ「住みやすい」という回答者の《ゆとり潤いのまちなみ》のニーズ得点も高い場合、相関係数は弱いことになる。

市全体の相関係数を平成9年度および平成11年度調査結果と比較したものが図表9-3-1である。最も相関係数の高い項目は「日常の買い物の利便性」で、次いで「自宅周辺の道路の広さや舗装」「道路網や橋の整備」「市役所、市民センターの利用のしやすさ」「鉄道の利便性」と高くなっている。平成11年度の調査結果と比較すると、前回2位に入っていた項目が順位を上げ、今回は最も相関係数の高い項目となっている。前回上位5項目以内に入っていた4項目については順位が前後しているものの、今回も同じ項目が入っている。しかし、前回1位の「ゆとりと潤いのあるまちなみ」は今回6位と順位を下げ、新たに「市役所、市民センターの利用のしやすさ」が前回34位から今回4位に順位を上げている。全体を通して平成11年度よりも相関係数の値が低くなっており、特に「水道水の安定供給と水質」「騒音、振動、悪臭等の対策」「情報化社会への対応」「河川等の水質や大気汚染対策」「保育所などの児童福祉施策」等については、他の項目に比べて相関係数の低下が大きくなっている。

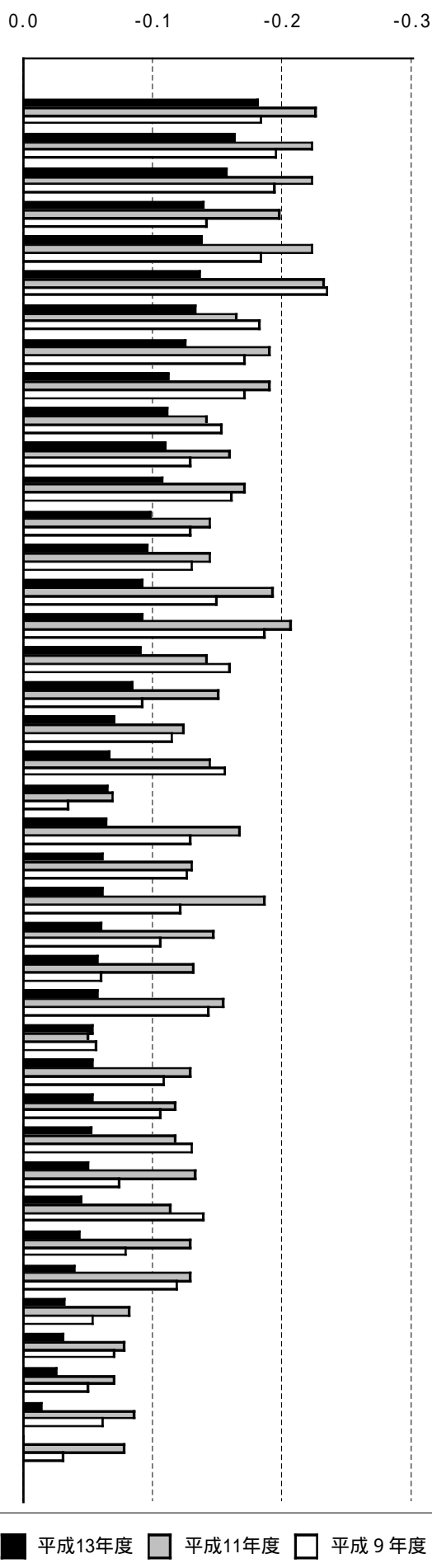
一方、相関係数の低い項目は「国際化への対応」「生涯学習、文化サークル活動」「工業の振興」「史跡、伝統文化等の保護」「体力づくり、スポーツ活動の振興」等で、平成11年度調査で相関係数の低かった「音楽会、美術展等の開催」については、相関係数は前回に比べて高くなっている。

次に、ニーズ得点平均と住みやすさ評価との相関係数を横軸、ニーズ得点平均を縦軸として散布図に表したものが図9-3-2-1から図9-3-10-2で、市全体および各地区ごとに平成11年度との比較を行っている。

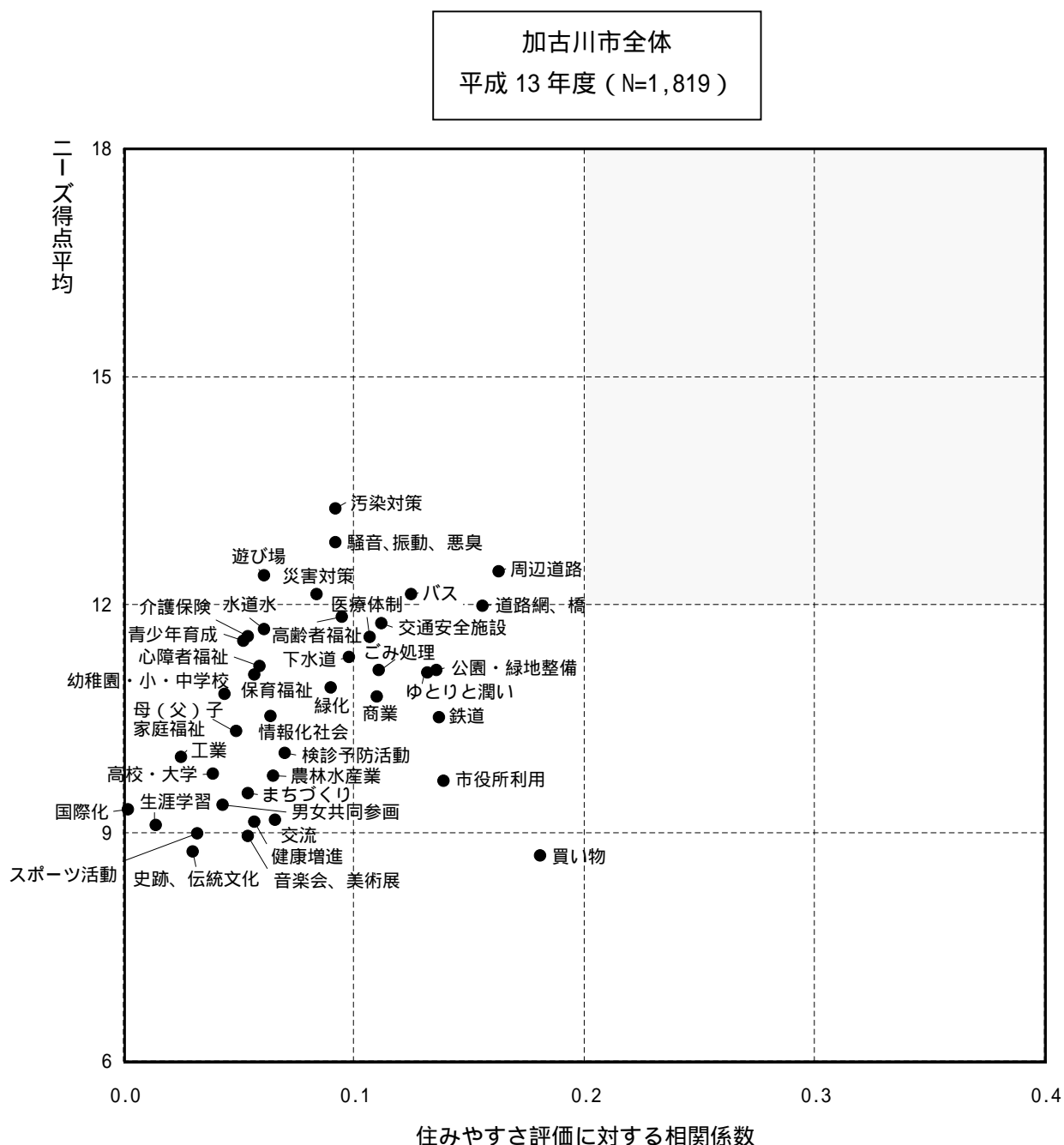
先述の相関係数の値は、加古川市の住みやすさ評価に対して与えている影響の強さを表すものと考えられることから、ニーズ得点が大きく（＝ニーズが高い）この相関係数の値も大きい項目について何らかの方策を講じた場合には、住みやすさに対する評価に大きく影響することが考えられる。そこで、市全体および各地区ごとの相関係数とニーズ得点平均の散布図を、平成11年度の調査結果と比較検討していく。

【図表9 - 3 - 1 ニーズ得点平均と住みやすさ評価との相関係数】

項目	得点		
	H13	H11	H9
日常の買い物の利便性	-0.181	-0.226	-0.184
自宅周辺の道路の広さや舗装	-0.163	-0.223	-0.195
道路網や橋の整備	-0.156	-0.223	-0.194
市役所、市民センターの利用のしやすさ	-0.139	-0.198	-0.141
鉄道の利便性	-0.137	-0.223	-0.183
ゆとりと潤いのあるまちなみ	-0.136	-0.231	-0.234
公園や緑地の整備	-0.132	-0.164	-0.182
バスの利便性	-0.125	-0.190	-0.170
信号機、ガードレールなどの交通安全施設	-0.112	-0.190	-0.171
ごみの収集、処理対策	-0.111	-0.142	-0.152
商業の振興	-0.110	-0.159	-0.128
医療機関や診療体制	-0.107	-0.171	-0.161
下水道の整備	-0.098	-0.144	-0.128
高齢者への福祉施策	-0.095	-0.144	-0.130
河川等の水質や大気汚染対策	-0.092	-0.192	-0.149
騒音、振動、悪臭等の対策	-0.092	-0.206	-0.186
緑化、自然保護の推進	-0.090	-0.141	-0.159
地震、火災、水害などの災害対策	-0.084	-0.150	-0.092
住民健診や生活習慣病予防活動	-0.070	-0.123	-0.114
隣近所とのつきあい、交流	-0.066	-0.144	-0.155
農林水産業の振興	-0.065	-0.069	-0.034
情報化社会への対応	-0.064	-0.167	-0.129
自宅周辺での子どもの遊び場の確保	-0.061	-0.130	-0.126
水道水の安定供給と水質	-0.061	-0.186	-0.121
心身障害者（児）への福祉施策	-0.059	-0.146	-0.106
健康増進（ウェルネス）のための施策	-0.057	-0.131	-0.059
保育所などの児童福祉施策	-0.057	-0.154	-0.142
音楽会、美術展等の開催	-0.054	-0.049	-0.056
まちづくりへの市民参加	-0.054	-0.128	-0.108
介護保険の取り組み（在宅介護への支援）	-0.054	-0.117	-0.105
青少年の健全育成	-0.052	-0.118	-0.130
母（父）子家庭への福祉施策	-0.049	-0.133	-0.074
幼稚園、小・中学校の施設や教育内容	-0.044	-0.114	-0.139
男女共同参画社会の取り組み	-0.043	-0.129	-0.079
高校、大学などの整備	-0.039	-0.128	-0.118
体力づくり、スポーツ活動の振興	-0.032	-0.081	-0.053
史跡、伝統文化等の保護	-0.030	-0.077	-0.070
工業の振興	-0.025	-0.070	-0.050
生涯学習、文化サークル活動	-0.014	-0.085	-0.061
国際化への対応	0.002	-0.078	-0.030



【図9 - 3 - 2 - 1 ニーズ得点平均と住みやすさ評価との関係（相関係数）】

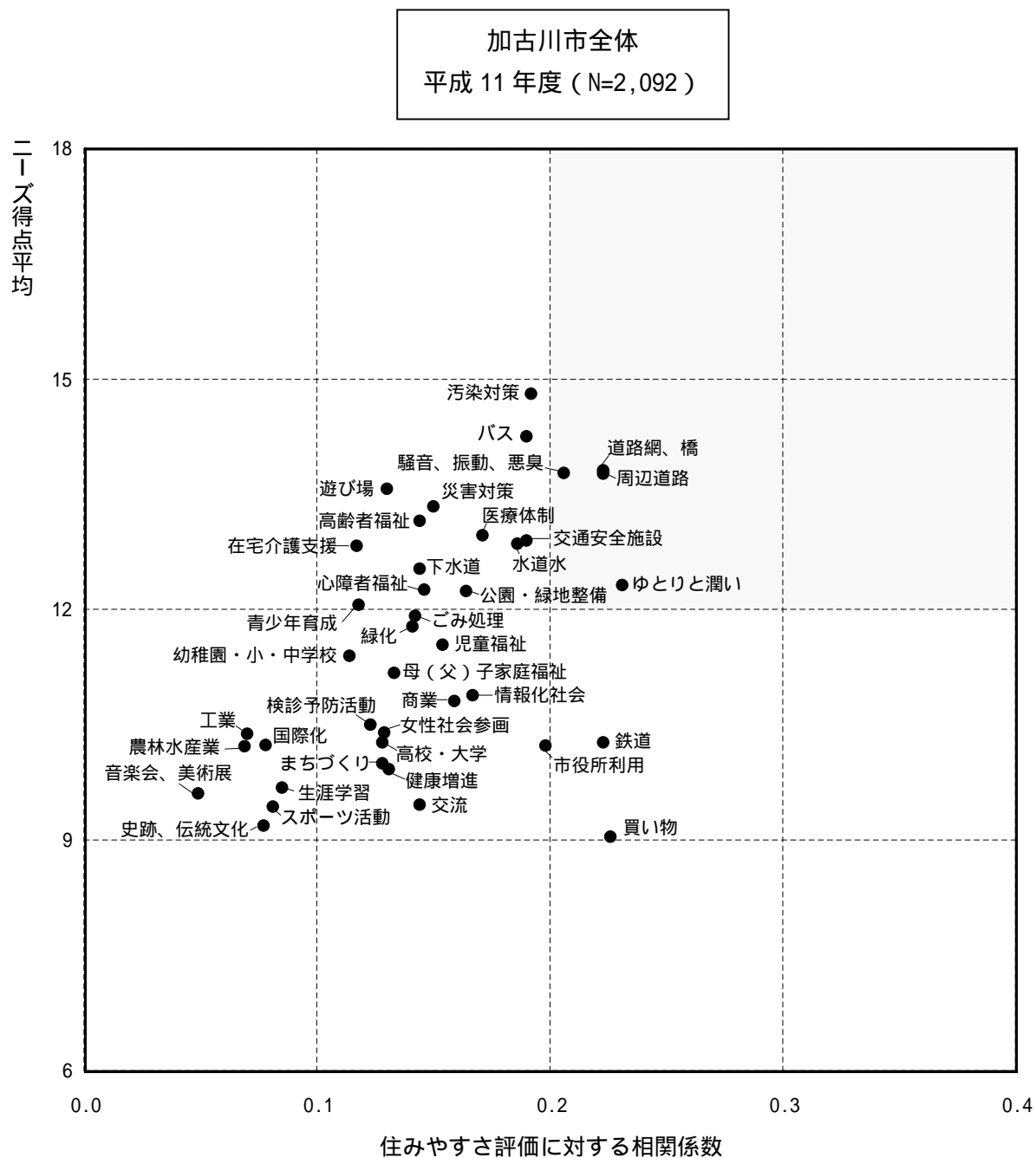


注) 相関係数の絶対値を図示している。

加古川市全体では、ニーズ得点が高く住みやすさ評価に対する相関係数が高い項目は、「自宅周辺の道路の広さや舗装」「道路網や橋の整備」となっている。

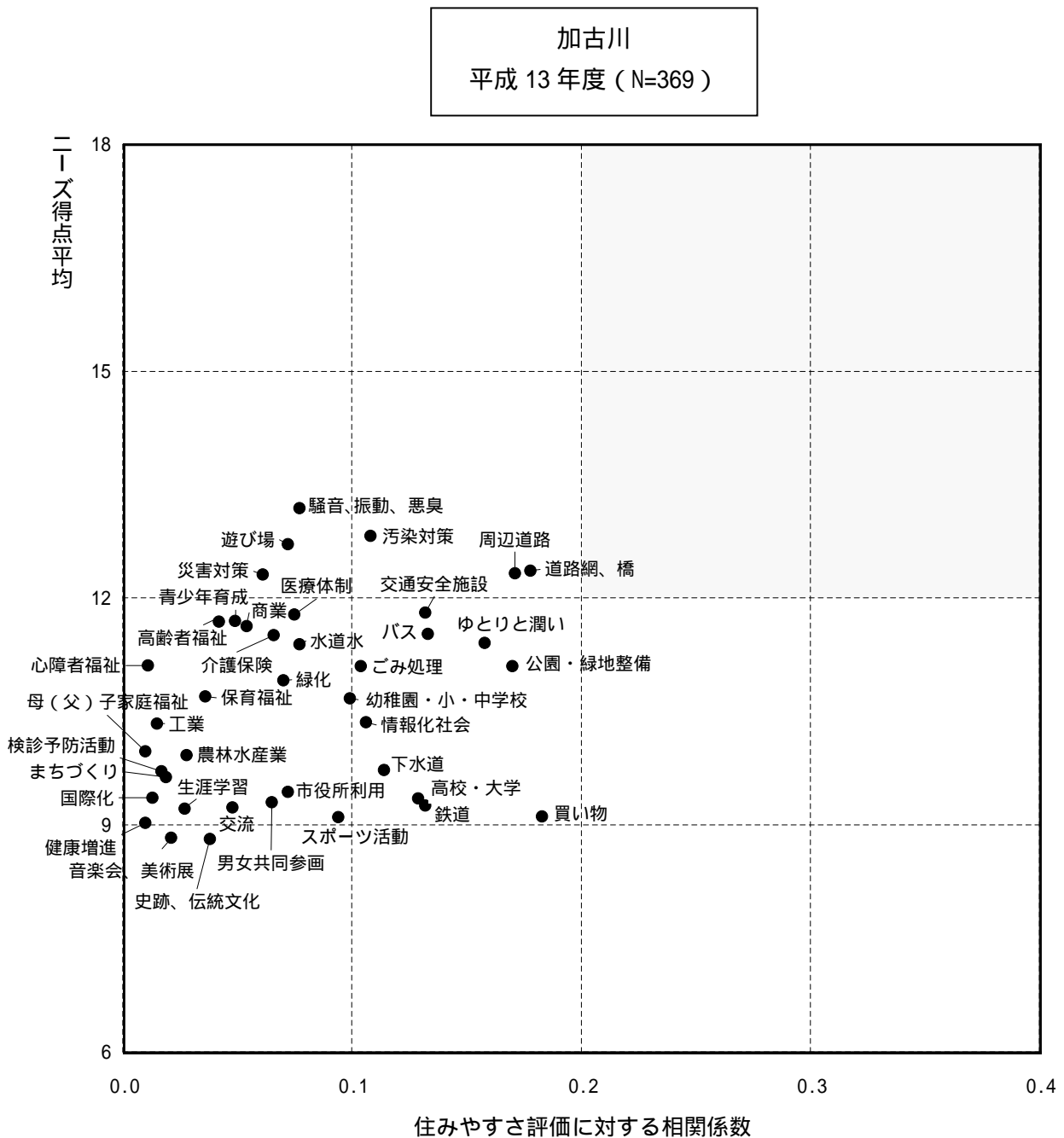
平成11年度調査結果と比較すると、全体を通してニーズ得点が低くなっており、前回上位項目であった「騒音、振動、悪臭等の対策」「ゆとりと潤いのあるまちなみ」は相関係数が大きく低下している。

【図9 - 3 - 2 - 2 ニーズ得点平均と住みやすさ評価との関係（相関係数）】



注) 相関係数の絶対値を図示している。

【図9-3-3-1 ニーズ得点平均と住みやすさ評価との関係（相関係数）】

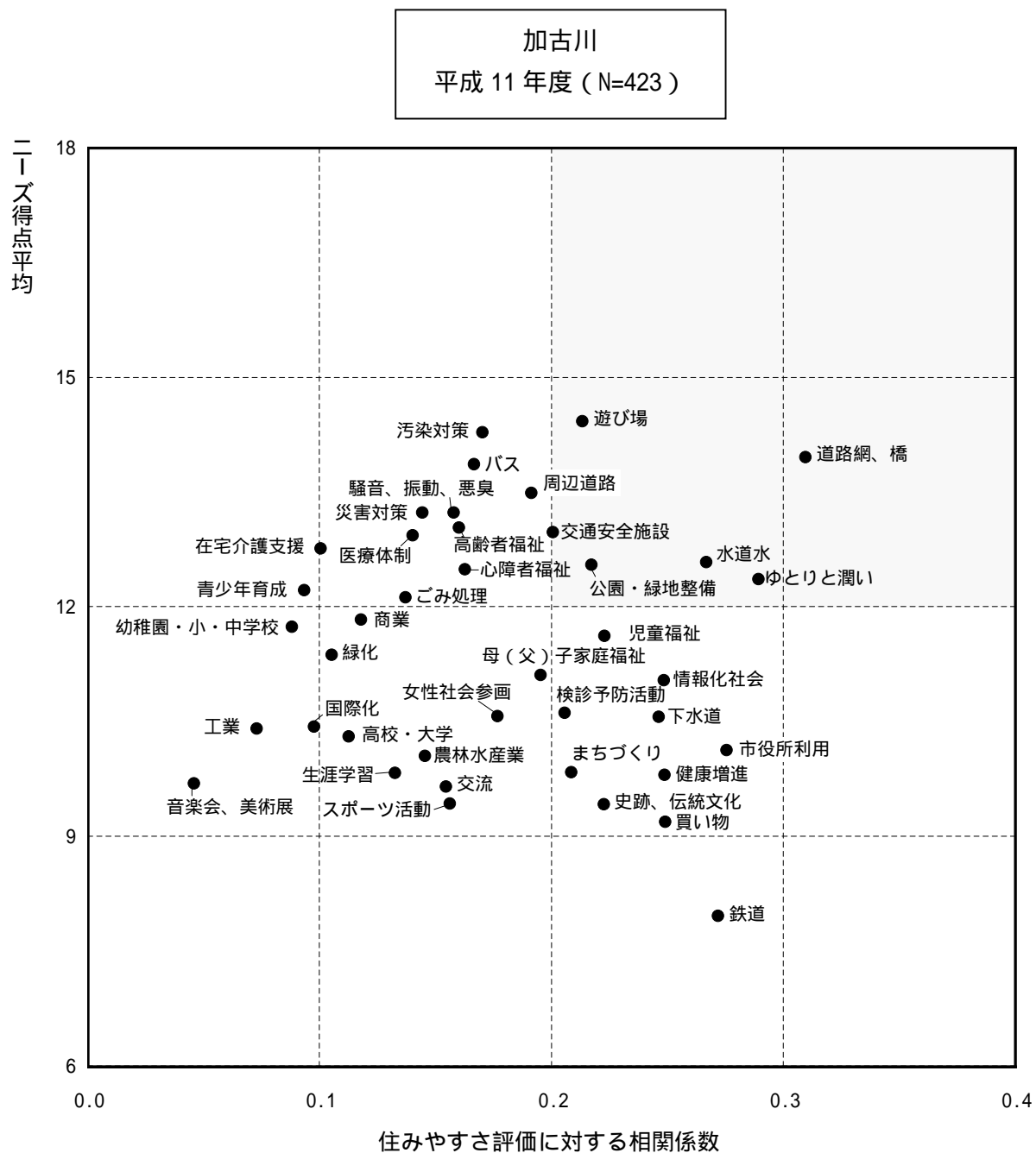


注) 相関係数の絶対値を図示している。

加古川地区では、市全体と同様に「自宅周辺の道路の広さや舗装」「道路網や橋の整備」があがっている。ニーズがやや低くなるものの、「ゆとりと潤いのあるまちなみ」「公園や緑地の整備」が次いでいる。

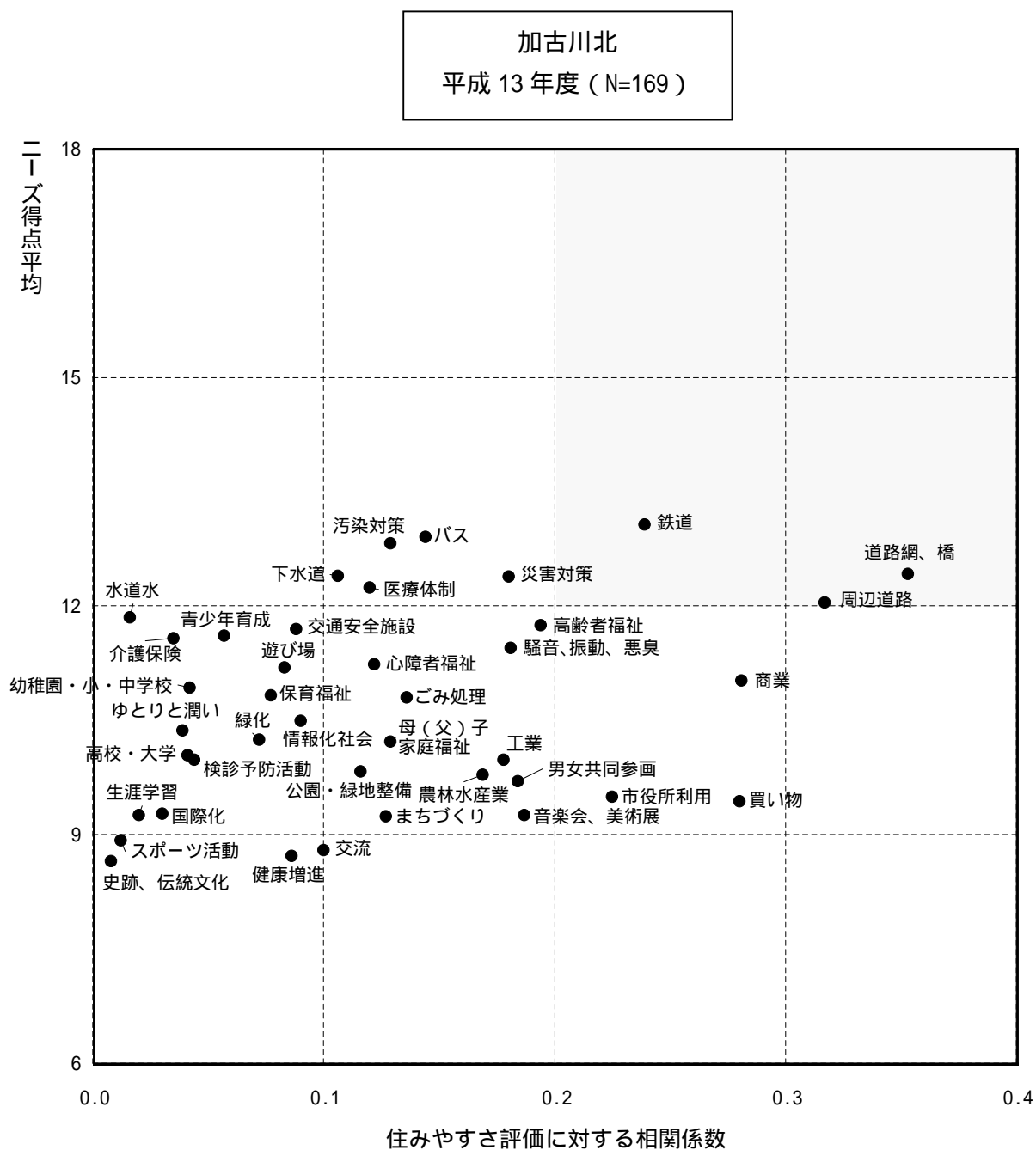
平成11年度調査結果と比較すると、前回の上位項目にあがっていた「自宅周辺での子どもの遊び場の確保」「水道水の安定供給と水質」については、ニーズ得点、相関係数ともに著しく低下している。

【図9 - 3 - 3 - 2 ニーズ得点平均と住みやすさ評価との関係（相関係数）】



注) 相関係数の絶対値を図示している。

【図9-3-4-1 ニーズ得点平均と住みやすさ評価との関係（相関係数）】

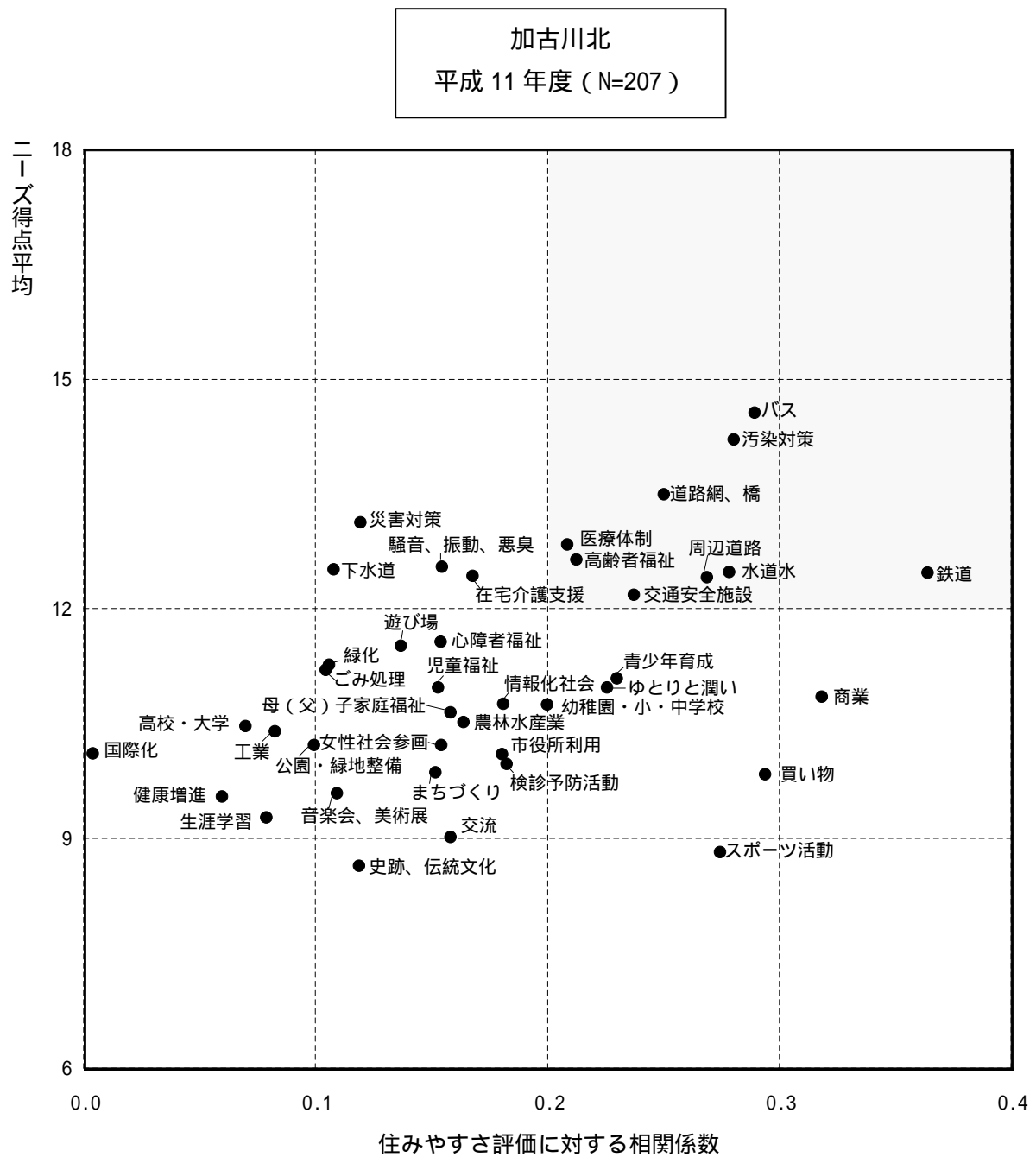


注) 相関係数の絶対値を図示している。

加古川北地区では、「鉄道の利便性」「道路網や橋の整備」「自宅周辺の道路の広さや舗装」がニーズ得点、相関係数ともに高くなっている。

平成11年度調査結果と比較すると、「鉄道の利便性」のニーズは高まっているものの、相関係数は低下している。反対に「道路網や橋の整備」「自宅周辺の道路の広さや舗装」はニーズは低下しているものの、相関係数は高くなっている。また、前回ニーズの高かった「バスの利便性」「河川等の水質や大気汚染対策」はニーズ得点、相関係数ともに低下が著しい。「水道水の安

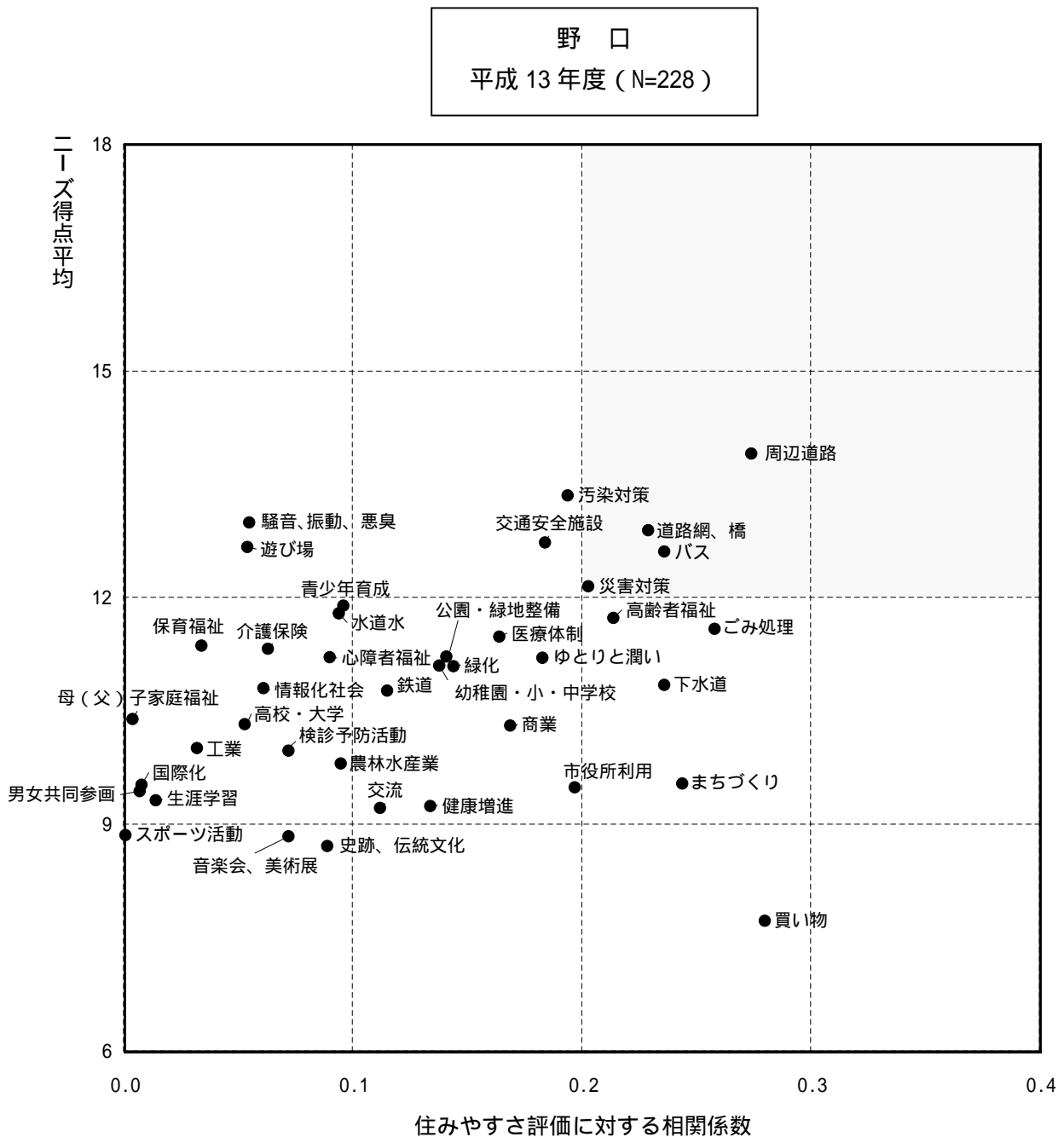
【図9-3-4-2 ニーズ得点平均と住みやすさ評価との関係（相関係数）】



注) 相関係数の絶対値を図示している。

「定供給と水質」はニーズ得点の高さに反して、あまり相関がみられない。

【図9-3-5-1 ニーズ得点平均と住みやすさ評価との関係（相関係数）】

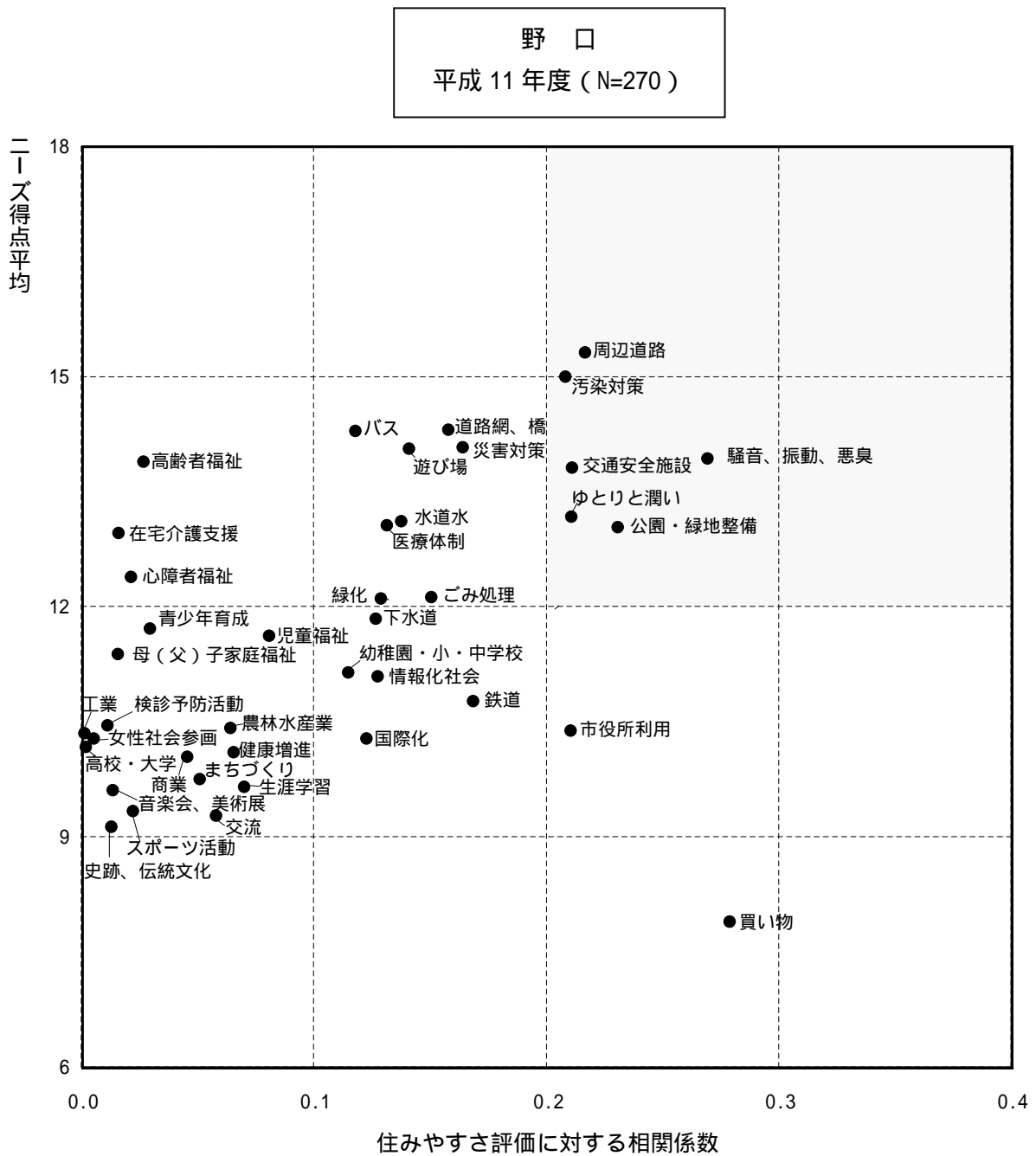


注) 相関係数の絶対値を図示している。

野口地区では、「自宅周辺の道路の広さや舗装」「道路網や橋の整備」「バスの利便性」「河川等の水質や大気汚染対策」「地震、火災、水害などの災害対策」などが上位項目となっている。

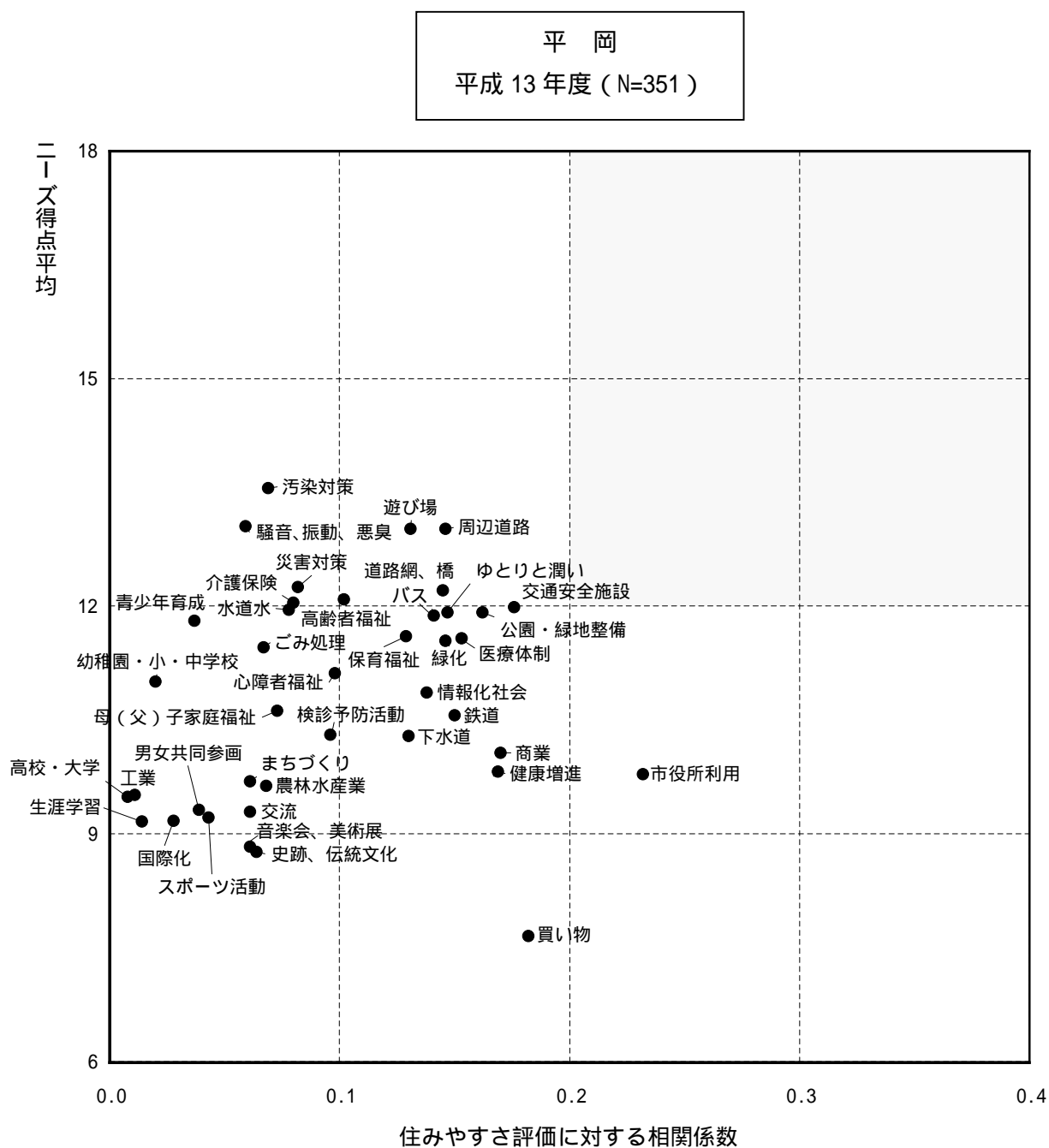
平成 11 年度調査結果と比較すると、いずれの上位項目もニーズ得点が低下しているが、そのうち「道路網や橋の整備」「バスの利便性」については相関係数が高くなっている。また、前回の上位項目であった「騒音、振動、悪臭等の対策」は相関係数が、「ゆとりと潤いのあるまちなみ」「公園や緑地の整備」はニーズ得点が大きく低下している。

【図9 - 3 - 5 - 2 ニーズ得点平均と住みやすさ評価との関係（相関係数）】



注) 相関係数の絶対値を図示している。

【図9-3-6-1 ニーズ得点平均と住みやすさ評価との関係（相関係数）】

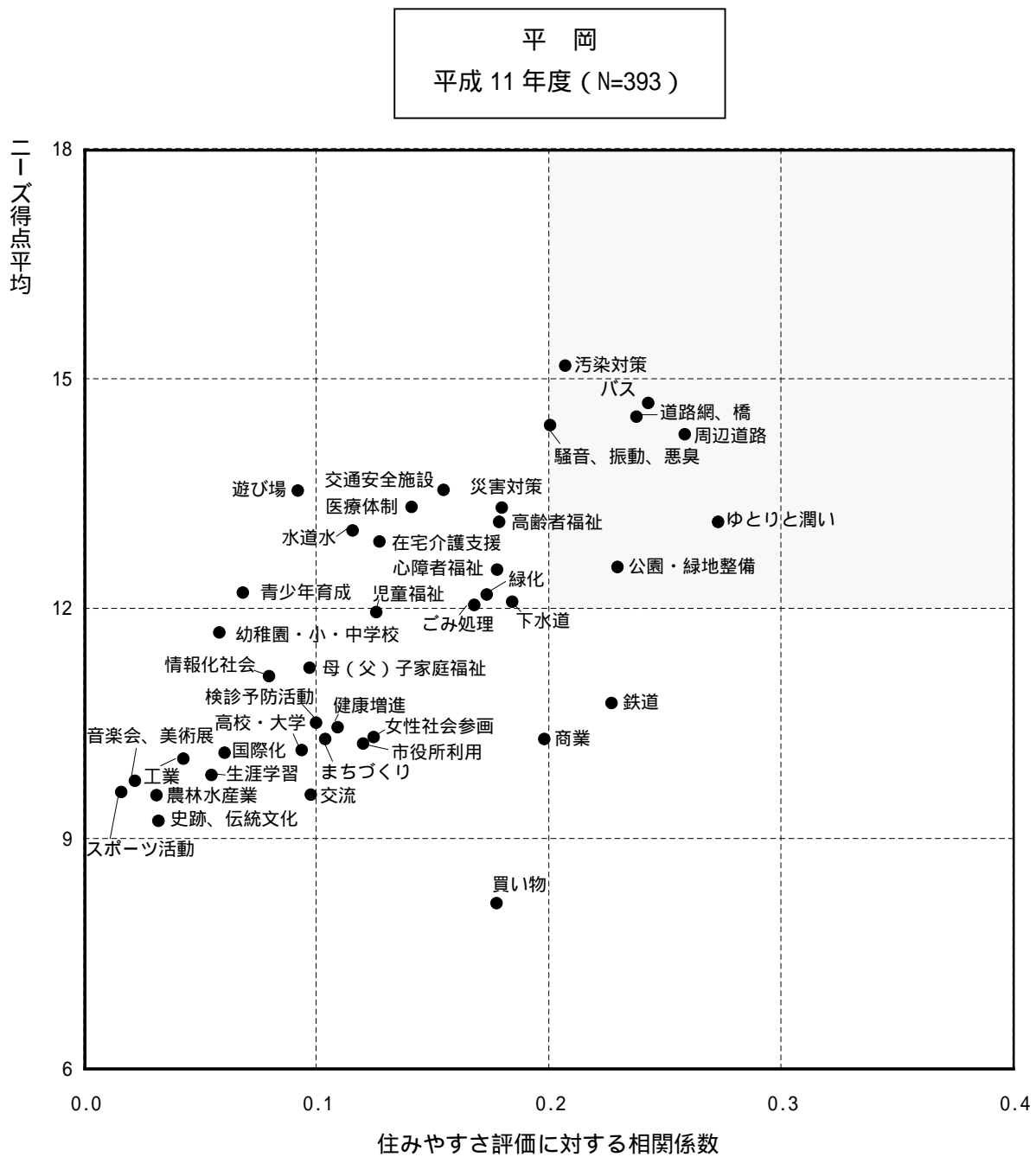


注) 相関係数の絶対値を図示している。

平岡地区では、ニーズ得点、相関係数ともに高かったのは「信号機、ガードレールなどの交通安全施設」「公園や緑地の整備」などとなっている。

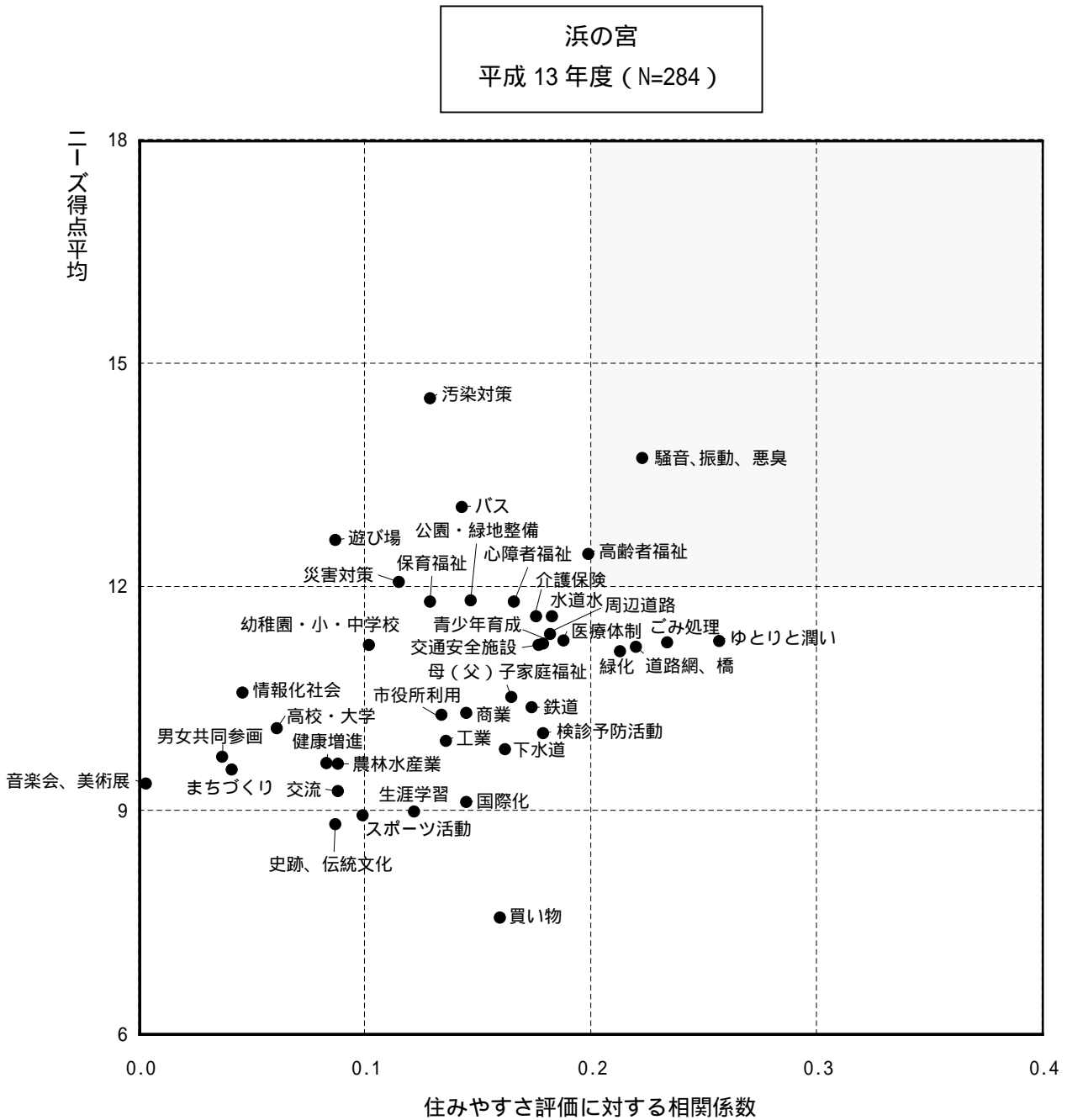
平成11年度調査結果と比較すると、前回ニーズの高かった「河川等の水質や大気汚染対策」「バスの利便性」「道路網や橋の整備」「騒音、振動、悪臭等の対策」「自宅周辺の道路の広さや舗装」ではニーズ得点、相関係数ともに大きく低下している。

【図9 - 3 - 6 - 2 ニーズ得点平均と住みやすさ評価との間の関係（相関係数）】



注) 相関係数の絶対値を図示している。

【図9 - 3 - 7 - 1 ニーズ得点平均と住みやすさ評価との間の関係（相関係数）】

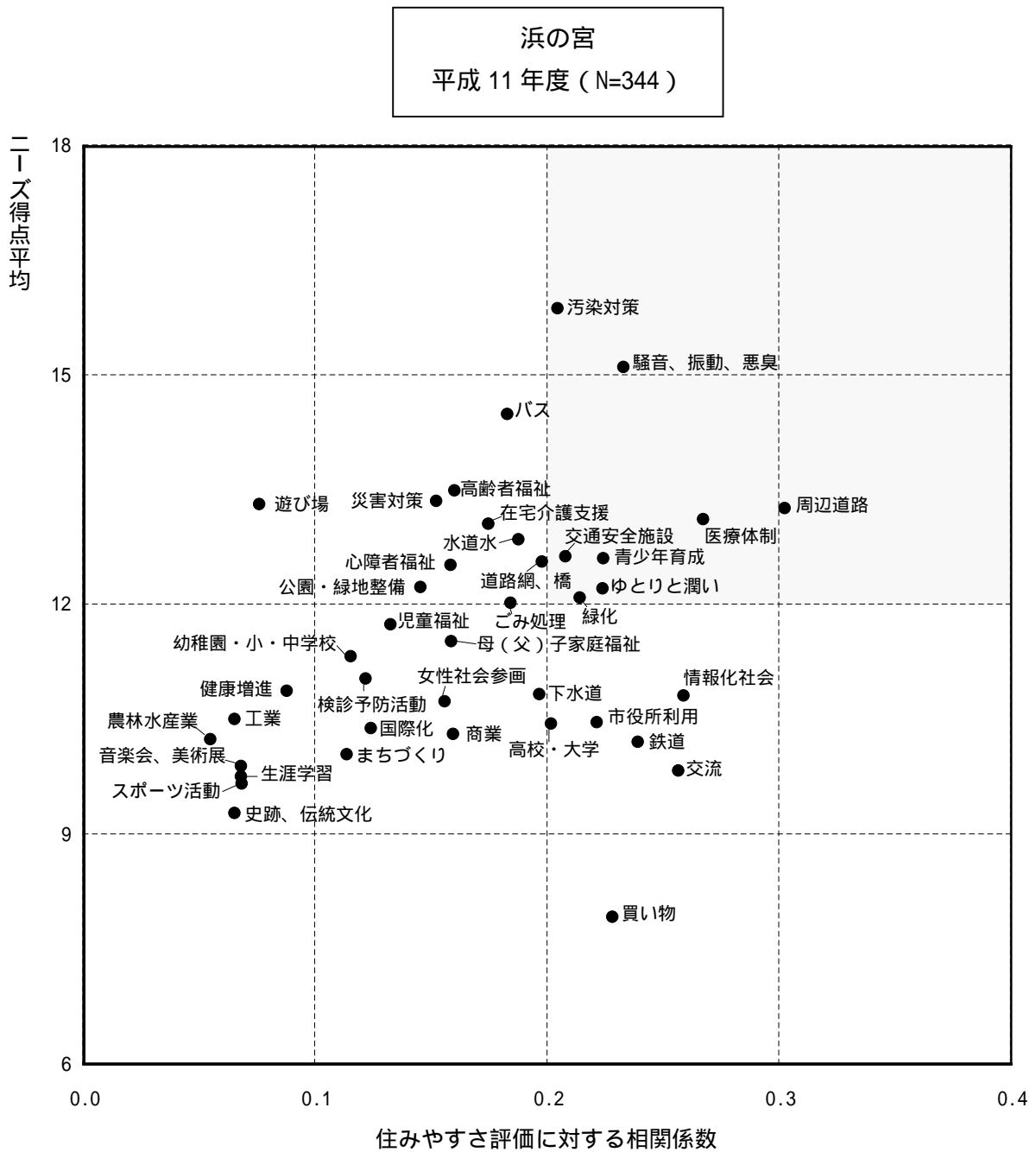


注) 相関係数の絶対値を図示している。

浜の宮地区では、「騒音、振動、悪臭等の対策」「高齢者への福祉対策」などが上位にあがっている。

平成 11 年度調査結果と比較すると、「河川等の水質や大気汚染対策」は前回と変わらず最もニーズが高いものの、前回にくらべて得点、相関係数は低下している。同様に「騒音、振動、悪臭等の対策」「自宅周辺の道路の広さや舗装」「医療機関や診療体制」「バスの利便性」など、前回上位項目にあがっていた項目のニーズ得点、相関係数の低下は著しい。

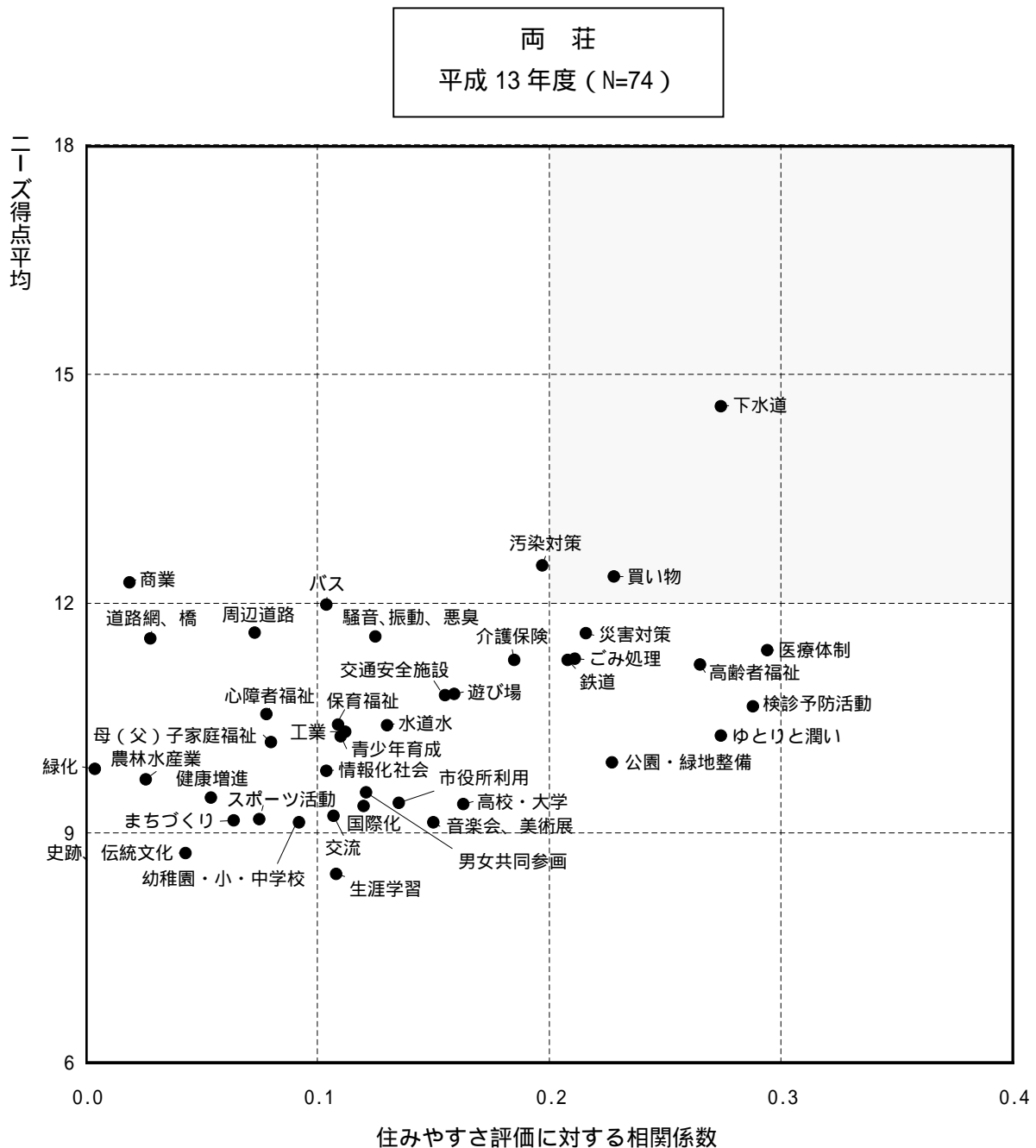
【図9 - 3 - 7 - 2 ニーズ得点平均と住みやすさ評価との関係（相関係数）】



注) 相関係数の絶対値を図示している。

「ごみの収集、処理対策」「ゆとりと潤いのあるまちなみ」は、前回に比べてそれほどニーズは高くないものの、相関係数は高くなっている。

【図9 - 3 - 8 - 1 ニーズ得点平均と住みやすさ評価との間の関係（相関係数）】

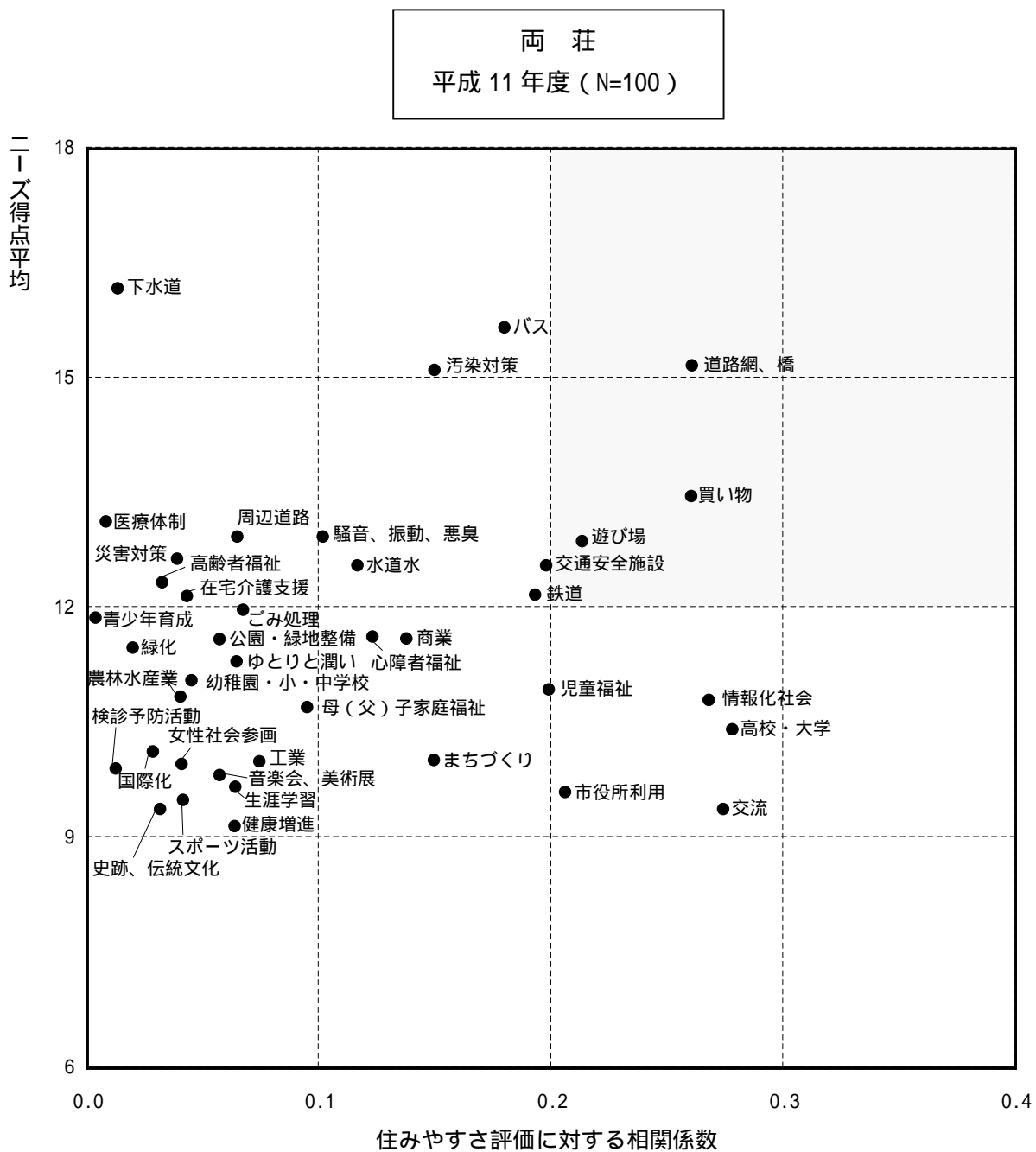


注) 相関係数の絶対値を図示している。

両荘地区では、「下水道の整備」「日常の買い物の利便性」「河川等の水質や大気汚染対策」が上位にあがっている。

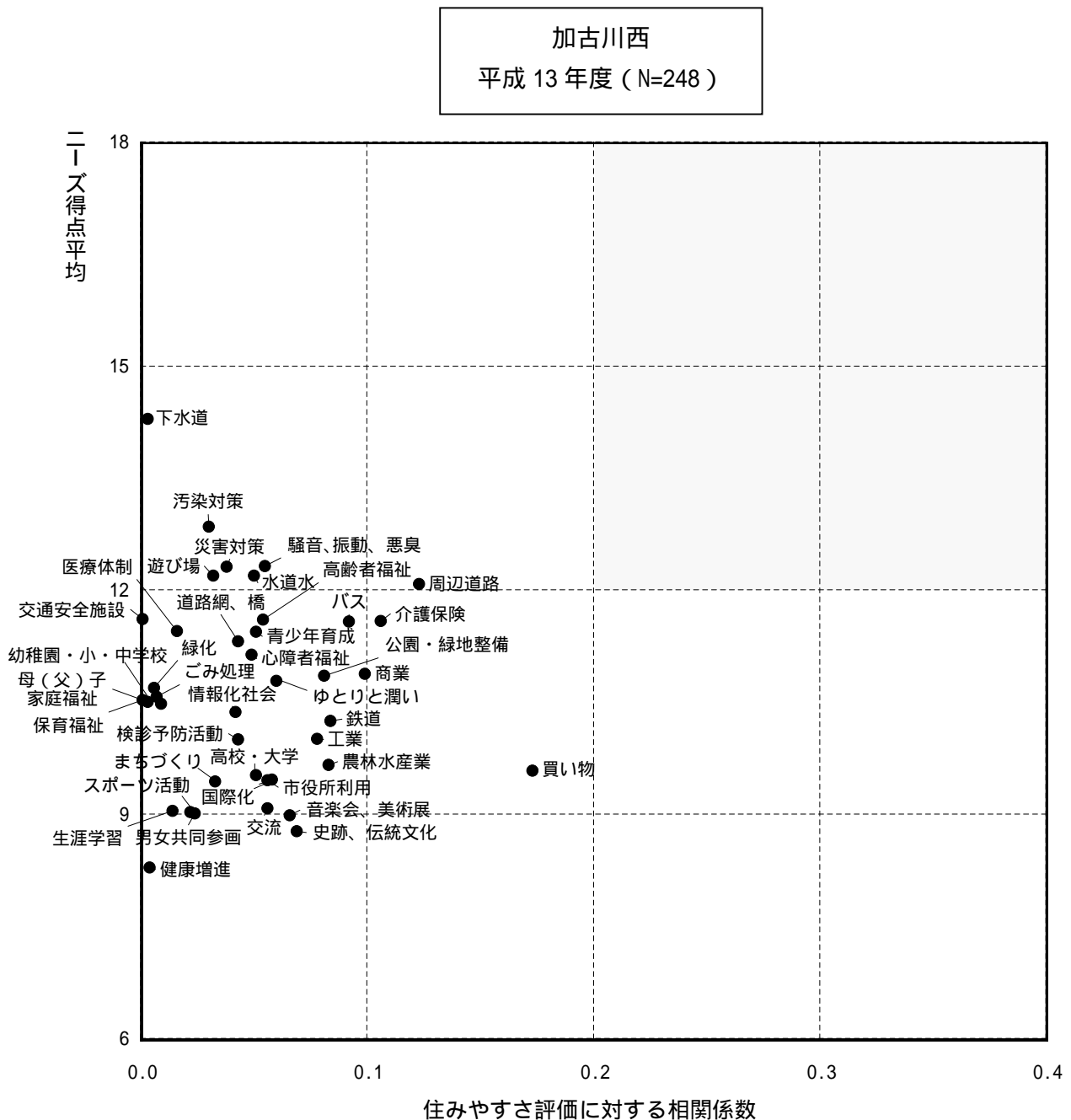
平成 11 年度調査結果と比較すると、前回上位項目にあがっていた「道路網や橋の整備」は、ニーズ得点、相関係数ともに大幅に低下し、あまり相関がみられない。また、「医療機関や診療体制」「高齢者への福祉施策」「住民健診や生活習慣病予防活動」「ゆとりと潤いのあるまちなみ」はニーズ得点はあまり高くないが、相関係数の伸びが著しい。

【図9-3-8-2 ニーズ得点平均と住みやすさ評価との関係（相関係数）】



注) 相関係数の絶対値を図示している。

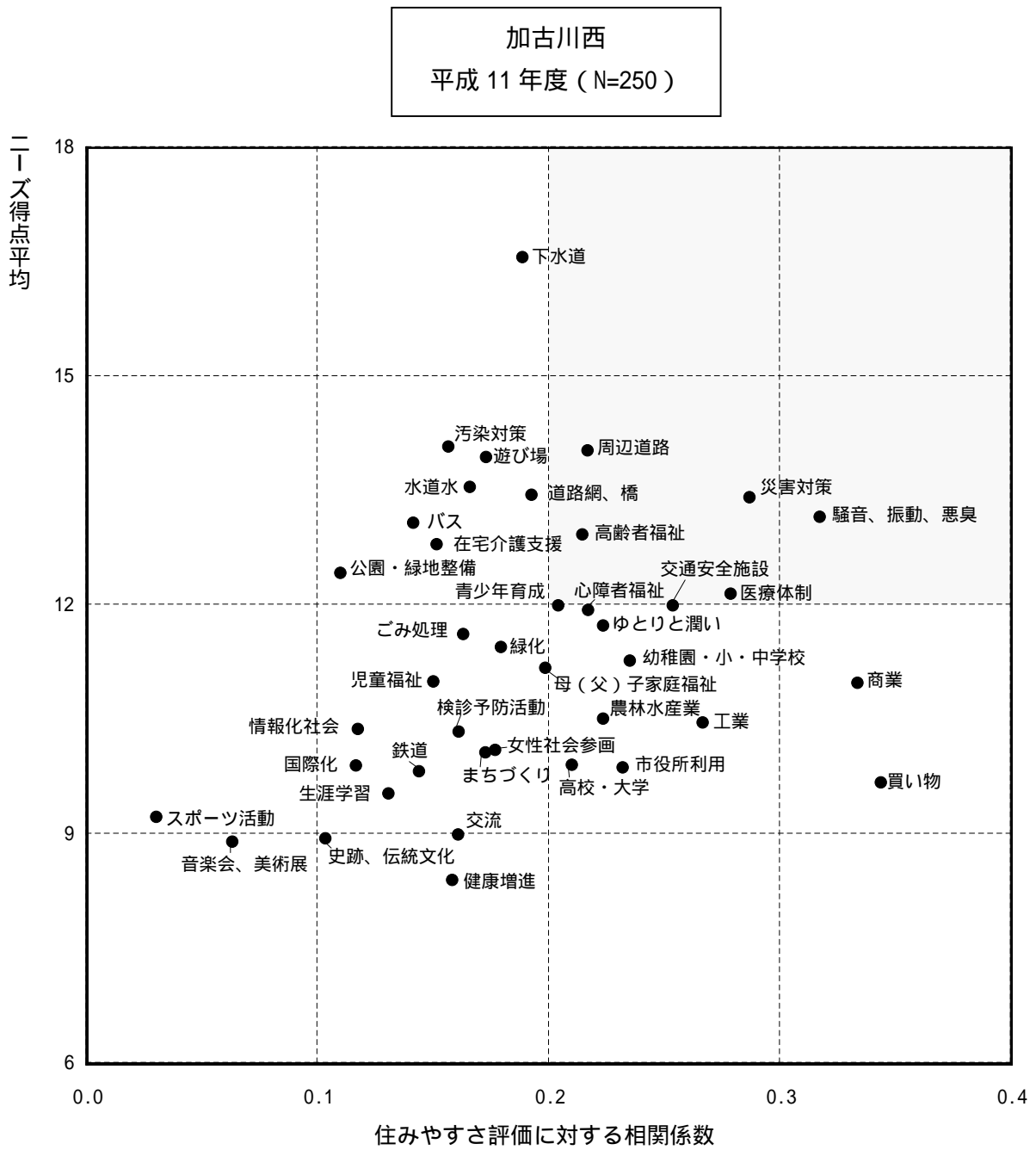
【図9 - 3 - 9 - 1 ニーズ得点平均と住みやすさ評価との関係（相関係数）】



注) 相関係数の絶対値を図示している。

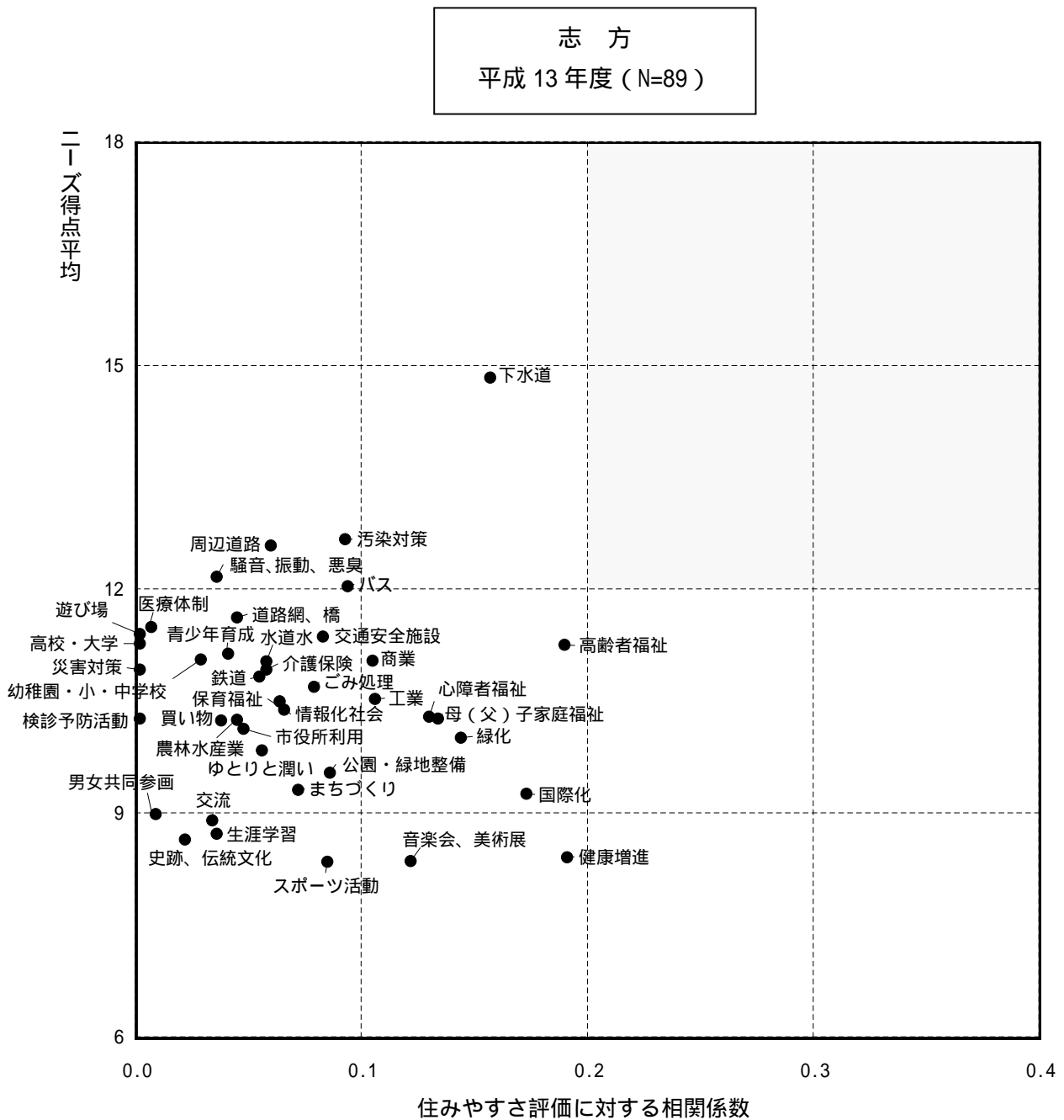
加古川西地区では、全体的に相関係数が低く、平成 11 年度調査結果と比べてもほとんどの項目が低くなっている。特に、平成 11 年度で上位項目に入っていた「地震、火災、水害などの災害対策」「騒音、振動、悪臭等の対策」「高齢者への福祉施策」「医療機関や診療体制」「信号機、ガードレールなどの交通安全施設」「青少年の健全育成」「心身障害者(児)への福祉施策」などでは、ニーズ得点、相関係数ともに大きく低下している。なお、「下水道の整備」については、ニーズ得点は依然として高いものの前回に比べて得点は低く、今回はほとんど相関がみられない。

【図9 - 3 - 9 - 2 ニーズ得点平均と住みやすさ評価との関係（相関係数）】



注) 相関係数の絶対値を図示している。

【図9 - 3 - 10 - 1 ニーズ得点平均と住みやすさ評価との関係（相関係数）】

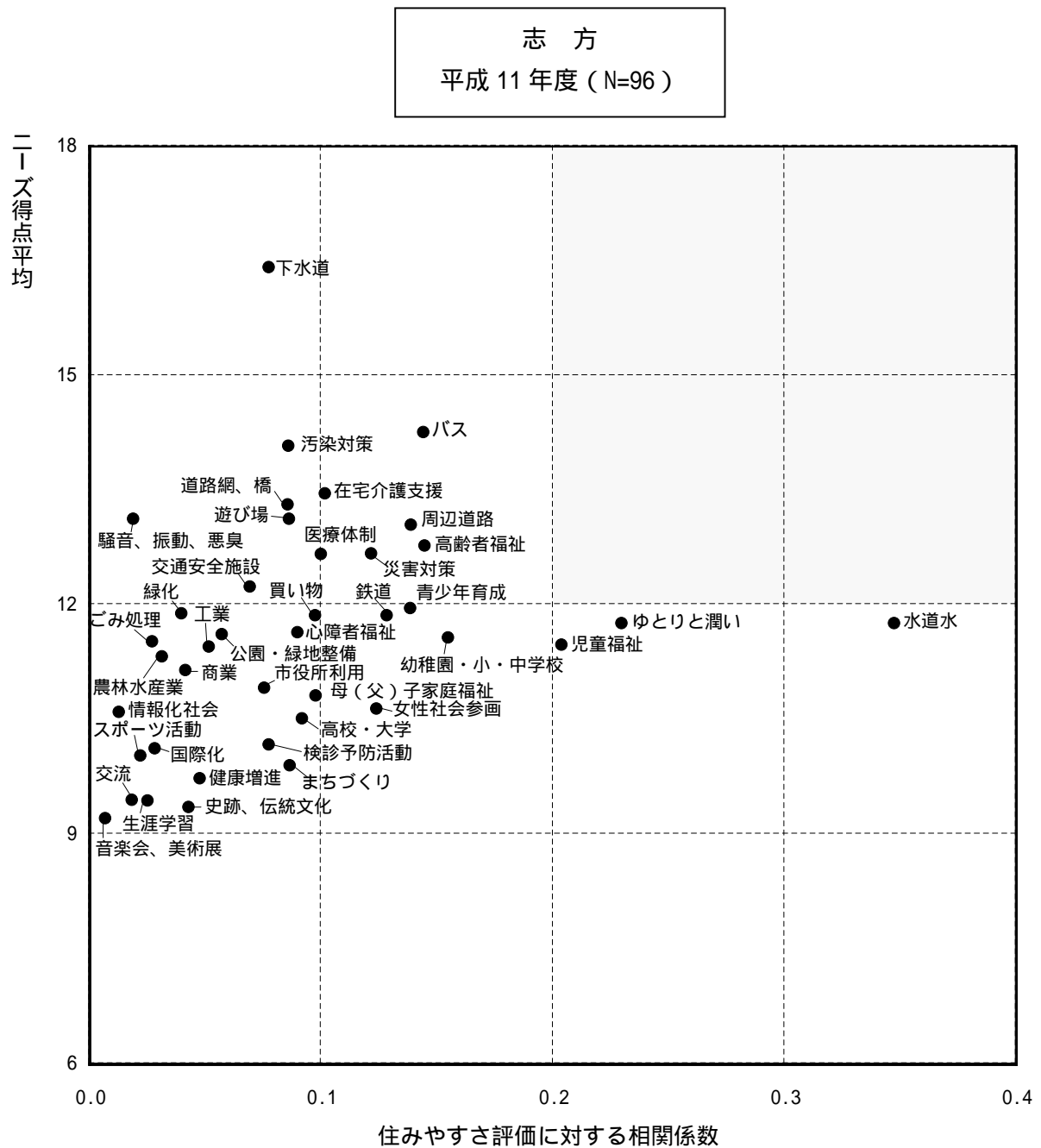


注) 相関係数の絶対値を図示している。

志方地区では、全体的にニーズ得点、相関係数ともに低下している。

平成11年度調査結果と比較しても、前回の上位項目であった「ゆとりと潤いのあるまちなみ」「水道水の安定供給と水質」については、他の項目に比べて相関係数の低下が著しい。

【図9 - 3 - 10 - 2 ニーズ得点平均と住みやすさ評価との関係（相関係数）】



注) 相関係数の絶対値を図示している。